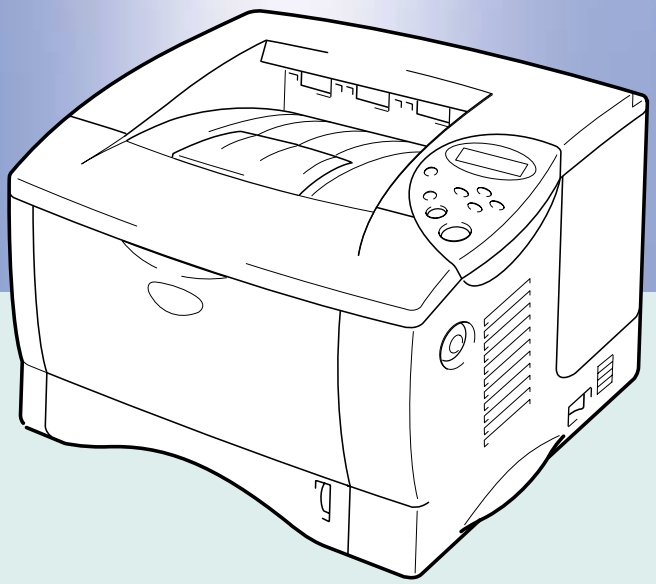
LAN I/F ボード
CP-LA200

ネットワーク取扱説明書

CP-B200をネットワークに接続してご使用いただく際の各種設定方法が記載されています。
ネットワークに接続する前にネットワーク管理者にご確認されることをおすすめします。



CASIO

T-675P-2
MA0207-A

目次

第1章
TCP/IPでの印刷
Windows NT、Windows 2000/XPおよびLAN Serverからの印刷 1-1
概要 1-1
すぐ使用する場合 1-1
Windows NT 4.0/2000/XP (TCP/IP)の設定 1-2
Windows 2000/XPでの印刷(プリンタドライバ未インストール) 1-3
標準 TCP/IPポート印刷 1-3
Windows 2000/XPでの印刷(プリンタドライバ インストール済) 1-4
Windows NT 4.0での印刷 1-4
Windows NT 4.0での印刷(プリンタドライバ未インストール) 1-5
Windows NT 4.0での印刷(プリンタドライバ インストール済) 1-6
第2章
TCP/IP ピアツーピア印刷
Windows 95/98/Me からの印刷 2-1
概要 2-1
すぐ使用する場合 2-1
TCP/IPでの印刷 2-1
CP-LA200ピアツーピア印刷(LPR) ポートドライバのインストール 2-2
プリンタへの関連付け 2-3
CP-LA200 LPRポートの追加 2-3

第3章
NetBIOSピアツーピア印刷
Windows 95/98/Me/NT/2000/XP、LAN ServerからのNetBIOS印刷 3-1
概要 3-1
すぐ使用する場合 3-1
プリント サーバーの設定 3-2
TELNET、BRCONFIGまたはウェブブラウザを使用して、
ワークグループ名/ドメイン名を変更する 3-3
Windows 95/98/Me、NT4.0/2000/XP用CP-LA200ピアツーピア印刷
(NetBIOS) 3-3
CP-LA200ピアツーピア印刷（NetBIOS）のインストール 3-4
プリンタへの関連付け 3-5
Windows 95/98/Meの場合 3-5
Windows NT4.0/2000/XPの場合 3-6
ポートの追加 3-7
Windows 95/98/Meの場合 3-7
Windows NT4.0/2000/XPの場合 3-7
第4章
インターネット印刷
Windows 95/98/Meおよび NT 4.0/Windows 2000/XPからの
インターネット印刷 4-1
概要 4-1
すぐ使用する場合 4-1
CP-LA200インターネット印刷 4-2

プリント サーバーの設定 4-3
プリントサーバーの設定チェックリスト 4-3
BRAdmin Professionalを使用してプリントサーバーを設定する 4-4
ウェブブラウザを使用してプリントサーバーを設定する 4-5
TELNETを使用してプリント サーバーを設定する 4-5
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPへのCP-LA200インターネット印刷
ソフトウェアのインストール 4-6
CD-ROMからのインストール 4-6
<Windows 95/98/Meの場合> 4-7
<Windows NT4.0/2000/XPの場合> 4-7
ポートの追加 4-8
Windows 2000/XPでのインターネット印刷 4-9
必要なプリンタ ドライバがインストールされている場合 4-9
必要なプリンタ ドライバがインストールされていない場合 4-9
別のURLを指定する 4-10
第5章
Novell NetWareでの印刷
Novell NetWareからの印刷の設定方法 5-1
概要 5-1
一般的事項 5-2
NetWare5用NWADMINを使用してNDPSプリンタを作成する 5-3
NDPSマネージャ 5-3
NDPSブローカー 5-4

プリンタ エージェントの作成 5-5

Netware 3およびNetWare 4システムの設定 5-5

CP-LA200プリント サーバー（Binderyエミュレーション モードでのキュー サーバー モード）の設定にBRAdmin Professionalを使用する 5-6

CP-LA200プリント サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定にBRAdmin Professionalを使用する 5-7

CP-LA200プリント サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定に、Novell NWADMINとBRAdmin Professionalを使用する 5-8

重要事項 5-9

CP-LA200プリントサーバー（NDSモードでのリモートプリンタモード）の設定に、Novell NWAdminとBRAdmin Professionalを使用する 5-10

CP-LA200プリントサーバー（Binderyエミュレーション モードでのキュー サーバー モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する 5-12

CP-LA200プリント サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する 5-14

重要事項 5-14

CP-LA200プリント サーバー（リモート プリンタ モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する 5-16

NetWare 3.xx システムでのリモート プリンタの設定を行うには、次の手順を実行します。 5-16

NetWare 4.1x システムでの、NDSをサポートしたリモート プリンタの設定を行うには、次の手順を実行します。 5-16

BRCONFIG を使用して、リモート プリンタ名とプリンタ番号を割り当てる 5-18

第6章
DLCでの印刷
Windows NT、Windows 2000からの印刷 6-1
概要 6-1
すぐ使用する場合 6-1
Windows NT/2000でのDLCの設定 6-2
Windows 2000でのプリンタ設定 6-3
Windows NT 4.0でのプリンタの設定 6-4
他のシステムでのDLCの設定 6-5
第7章
ウェブブラウザでの管理
デバイスの管理にウェブブラウザを使用する方法 7-1
概要 7-1
すぐ使用する場合 7-1
ブラウザを使用してプリンタに接続する方法 7-2
ウェブ設定ページ 7-2
第8章
TCP/IPの設定
TCP/IP情報の割り当て 8-1
概要 8-1
設定されているIPアドレスを変更する方法 8-2
プリンタのコントロールパネルを使用してIPアドレスを割り当てる 8-2
BRAdmin Professionalを使用してIPアドレスを変更する 8-3
BRAdmin ProfessionalとIPX/SPXプロトコルを使用してIPアドレスを変更

する 8-4

BRAdmin ProfessionalとTCP/IPプロトコルを使用してIPアドレスを変更する 8-5

DHCPを使用して自動的にIPアドレスを設定する 8-6

ARPを使用してプリント サーバーのIPアドレスを設定する 8-7

Windows システム 8-7

RARPを使用してIPアドレスを設定する 8-8

BOOTPを使用してIPアドレスを設定する 8-9

DEC NCPまたはBRCONFIGを使用してIPアドレスを設定する 8-10

TELNETコンソールを使用してIPアドレスの設定を変更する 8-12

第9章
トラブルシューティング 9-1

概要 9-1

インストールについての問題 9-1

a. TCP/IP を使用している場合 9-2
b. Novell システムを使用している場合 9-2

TCP/IPのトラブルシューティング 9-3

Windows NT/LAN Server (TCP/IP) のトラブルシューティング 9-4

Windows 95/98/Me ピアツーピア 印刷 (LPR) のトラブルシューティング 9-4

Windows 95/98/Me/NT 4.0 ピアツーピア印刷 (NetBIOS) のトラブルシューティング 9-5

CP-LA200インターネット印刷のトラブルシューティング 9-5

Windows 95/98/Me/2000のIPPのトラブルシューティング 9-6

ポート番号を 631 以外の番号に変更する 9-6
Windows 2000 での［詳細］オプションが使用できない 9-6
Windows 95/98/Me クライアントが Windows 2000 システムからドライバを取得できない 9-6

Novell NetWareのトラブルシューティング 9-7

DLC/LLCのトラブルシューティング 9-8

ウェブブラウザのトラブルシューティング 9-8

付録
付録A 付録-1

一般情報 付録-1

BRAdmin Professional（推奨） 付録-1
HTTP（推奨） 付録-1
TELNET 付録-2
BRCONFIG 付録-2

付録B
サービスの使用 付録-3

概要 付録-3

第 1 章

1

TCP/IP での印刷

Windows NT、Windows 2000/XP および LAN Server からの印刷

概要

Windows NT では、TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワークボードを装置したプリンタ CP-B200 で直接印刷することができます。この場合は、Microsoft Windows NT 4.0 への TCP/IP 印刷プロトコルのインストールが必要です。Windows 2000/XP の場合は、直接プリント・ジョブをプリンタに送ることができ、ソフトウェアの追加インストールは一切不要です。

すぐ使用する場合

1. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。このアドレスを変更するには、プリンタのコントロールパネルまたは BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバー等を使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルト パスワードは、access です。
3. Windows NT 4.0 の場合は、Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールする必要があります。
4. Windows 2000/XP の場合は、Widows 2000/XP の標準ネットワーク印刷ソフトウェアあるいは IPP プロトコルを使用し、TCP/IP で直接印刷することができます。
5. CP-LA200 プリント・サーバーのデフォルト名は BRN_xxxxxx です (xxxxxx は、このプリント サーバーの Ethernet アドレスの最後の 6 桁です)。

Windows NT 4.0/2000/XP (TCP/IP)の設定

Windows NT システムに TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合はまず TCP/IP プロトコルをインストールして下さい。Windows NT システムの [コントロールパネル] の [ネットワーク] メニューを使用します。 NT 4.0 の場合は [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [コントロールパネル] をクリックします。Windows 2000/XP の場合は標準で TCP/IP プロトコルがインストールされています。詳細はこの章のそれぞれのセクションをご参照ください。

Windows 2000/XPでの印刷 (プリンタ ドライバ未インストール)

Windows 2000/XP システムの場合は、印刷に必要なソフトウェアは、すべて標準でインストールされています。このセクションでは、標準 TCP/IP ポート印刷の、最も一般的に使用される 2 種類の設定について説明します。すでにプリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、「プリンタ ドライバ インストール済」のセクションに進んでください。

標準 TCP/IP ポート印刷

1. [プリンタ] フォルダの [プリンタの追加] をダブルクリックすると、[プリンタの追加] ウィザードが開きます。（Windows XP の場合は、[プリンタと FAX]ウィンドウの[プリンタのインストール]をクリックすると、[プリンタの追加]ウィザードが開きます。）[次へ] をクリックします。
2. [ローカル プリンタ] を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] チェック ボックスをオフにします。
3. [次へ] をクリックします。
4. ネットワーク印刷ポートを選択します。システムに標準でインストールされている [Standard TCP/IP Port] を選択してください。
5. [次へ] をクリックします。
6. [標準 TCP/IP プリンタポートの追加] ウィザードが開きます。[次へ] をクリックします。
7. 設定するプリンタの IP アドレスまたはプリンタ名を入力します。ポート名はウィザードによって自動的に入力されます。
8. [次へ] をクリックします。
9. Windows 2000/XP から指定したプリンタへの接続が行われます。指定したアドレスまたはプリンタ名が正しく入力されていないと、エラー メッセージが表示されます。
10. [完了] をクリックし、ウィザードを終了します。
11. ポートの設定が終わったら、使用するプリンタ ドライバを指定します。プリンタのリストから、必要なプリンタドライバを選択します。CD-ROM またはフロッピー ディスクに保存されているプリンタドライバを使用する場合は、[ディスク使用] をクリックし、CD-ROM またはフロッピー ディスク上の保存場所を参照します。また、[Windows Update] ボタンをクリックし、Microsoft のウェブ サイトから直接プリンタ ドライバをダウンロードすることもできます。
12. ドライバのインストールが終了したら、[次へ] をクリックします。
13. 名前を入力し、[次へ] をクリックします。
14. このプリンタを共有するかどうかを指定し、必要な場合は共有名を入力して [次へ] をクリックします。
15. ウィザードでの設定が終わったら [完了] をクリックします。

Windows 2000/XPでの印刷 (プリンタ ドライバ インストール済)

既にプリンタ ドライバがインストールされている場合は、次の手順を実行して、ネットワーク印刷の設定を行います。

1. 設定するプリンタ ドライバをダブルクリックします。
2. [プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。
4. [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。
5. [標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加] ウィザードが開きます。「Windows 2000/XP での印刷 (プリンタ・ドライバ未インストール)」のセクションの、手順 6～10 を実行します。

Windows NT 4.0での印刷

Windows NT 4.0 システム (ワークステーションまたはサーバー) のインストール時に、TCP/IP プロトコルまたは Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールしていない場合は、次の手順を実行します。 TCP/IP プロトコルを使用してネットワーク印刷を行うには、Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールする必要があります。 TCP/IP プロトコルおよび Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルがインストールされている場合は、「プリンタドライバ未インストール」のセクション（プリンタドライバインストール済みのときは、「プリンタドライバインストール済み」のセクション）に進みます。

1. [コントロール パネル] の [ネットワーク] をダブルクリックし、[プロトコル] タブをクリックします。
2. [追加] を選択し、[TCP/IP プロトコル] をダブルクリックします。
3. 必要なファイルをコピーするため、指示に従ってディスクまたは CD-ROM を挿入します。
4. [サービス] タブをクリックし、[追加] をクリックして、[Microsoft TCP/IP 印刷] をダブルクリックします。
5. もう一度、指示に従ってディスクまたは CD-ROM を挿入します。
6. ファイルのコピーが終了したら、[プロトコル] タブをクリックします。
7. [TCP/IP プロトコル] をダブルクリックし、ホスト IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ アドレスを追加します。入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお尋ねください。
8. [OK] を 2 回クリックして設定を終了します。NT サーバーの再起動が必要です。

Windows NT 4.0での印刷 (プリンタ ドライバ未インストール)

1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックすると、[プリンタの追加] ウィザードが開きます。[このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。 このとき、[ネットワーク プリンタ サーバー] を選択しないように注意します。
2. [ポートの追加] を選択し、[利用可能なプリンタ ポート] のリストから [LPR port] を選択して、[新しいポート] をクリックします。 前述の Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールしていないと [LPR port] は表示されません。
3. [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、このプリント・サーバーの IP アドレスを入力します。 HOSTS ファイルを編集した場合、またはドメイン ネーム サービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、プリント サーバーに割り当てた名前を入力します。 このプリント サーバーは、DNS 名と NetBIOS 名をサポートしているため、プリント サーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。 NetBIOS 名は印刷設定シートに表示されます。デフォルトの NetBIOS 名は BRN_xxxxxx で、xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。
4. [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名:] ボックスに、プリント サーバー サービス名を入力します。サービス名が分からない場合は、BINARY_P1 と入力して [OK] をクリックします。
5. [閉じる] をクリックします。 [利用可能なプリンタ ポート] のリストに、プリント サーバーの IP アドレスが反転表示されます。 [次へ] をクリックします。
6. 該当するプリンタを選択します。該当するプリンタが表示されていない場合は、[ディスク使用] をクリックし、ドライバが保存されているディスクまたは CD-ROM を挿入します。
7. 既存のドライバがある場合は、[現在のドライバを使う (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。 既存のドライバがない場合は、このダイアログ ボックスは表示されません。
8. 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ] をクリックします。
9. 必要に応じ、他のユーザーが使用できるようにプリンタの共有を設定し、そのコンピュータのオペレーティング システムを選択します。 [次へ] をクリックします。
10. 「テスト ページを印刷しますか」の問いに対し [はい] を選択します。 [完了] をクリックしてインストールを完了します。 これで、ローカル プリンタと同じように使用することができます。

Windows NT 4.0での印刷 (プリンタ ドライバ インストール済)

プリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、次の手順を実行します。

1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックすると、インストールされているプリンタ ドライバが表示されます。
2. 設定を行うプリンタ ドライバをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポート追加] をクリックします。
4. [利用可能なプリンタ ポート] のリストから [LPR port] を選択して、[新しいポート] をクリックします。 前述の Microsoft TCP/IP 印刷プロトコルをインストールしていないと [LPR port] は表示されません。
5. [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、このプリント・サーバーに割り当てた IP アドレスを入力します。 HOSTS ファイルを編集した場合、またはドメイン ネーム サービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、プリント サーバーに割り当てた名称を入力します。 このプリント サーバーは、DNS 名と NetBIOS 名をサポートしているため、プリント サーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。 NetBIOS 名は、印刷設定シートに表示されます。デフォルトの NetBIOS 名は BRN_xxxxxx で、xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。
6. [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名:] ボックスに、プリント サーバー サービス名を入力します。サービス名が分からない場合は、BINARY_P1 と入力して [OK] をクリックします。
7. [閉じる] をクリックします。
8. これで、指定した IP アドレスまたは名称のプリンタに対して印刷を行うことができます。
9. このプリンタを共有する場合は、[共有] タブで共有の設定を行います。

第 2 章

TCP/IP ピアツーピア印刷

Windows 95/98/Me からの印刷

概要

Microsoft Windows 95/98/Me オペレーティング システムは TCP/IP 上の LPR プロトコルを使用して、ネットワークボードを装置したプリンタ CP-B200 に直接印刷することができます。この場合は、Microsoft Windows 95/98/Me への CP-LA200 ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールが必要です。

すぐ使用する場合

1. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。このアドレスを変更するには、プリンタのコントロール パネルまたは BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバーを使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. ご使用のコンピュータでの IP アドレスの設定方法は、P8-1 を参照ください。
3. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルト パスワードは access です。

TCP/IPでの印刷

ピアツーピア印刷を使用するには、印刷する Windows コンピュータ側に TCP/IP プロトコルのインストールと、プリンタ側の IP アドレスの設定が必要です。ご使用の Windows への TCP/IP プロトコルのインストール方法は、Windows のマニュアルをご参照ください。
プリンタの IP アドレスの設定が済んでいない場合は設定してください。 IP アドレスの設定については、この取扱説明書の P8-1 を参照して下さい。

CP-LA200ピアツーピア印刷(LPR) ポートドライバのインストール

1. CD-ROM のインストール メニュー プログラムを実行します。
2. プリンタのモデル名と、ソフトウェア インストール メニューを選択します。必要なメニューを選択すると、CP-LA200 ネットワーク印刷ソフトウェア インストール プログラムが開きます。
3. 最初の案内画面で [次へ] をクリックします。
4. [CP-LA200 ピアツーピア 印刷(LPR)] を選択します。
5. ファイルをインストールするディレクトリを選択します。 指定したディレクトリがディスク上に存在しない場合は、新たに作成されます。
6. 使用するポート名を入力し、[OK] をクリックします。 デフォルトのポート名は BLP1 です。 別のポート名を使用する場合は、必ず BLPx（x は任意の名称）にしてください。
7. [IP アドレス] に、印刷したいプリンタの IP アドレスを入力します。 hosts ファイルを編集している場合やドメイン ネーム サービスを使用している場合は、プリンタの名前を[ノード名]で入力することも可能です。 このプリント サーバーは、NetBIOS 名をサポートしているため、プリント サーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。 NetBIOS 名は、印刷設定シートに表示されます。 デフォルトの NetBIOS 名は BRN_xxxxxx で、xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。

Window 95/98/Me の hosts ファイルは、Windows ディレクトリに保存されています。Windows の hosts ファイルのデフォルト名は hosts.sam です。 このファイルを使用する場合は、ファイル名から拡張子を削除してください。 この拡張子“.sam”はサンプルであることを示すものです。

8. [OK] をクリックし、 コンピュータを再起動します。

プリンタへの関連付け

Windows のプリンタ設定手順を使用して、Windows システム上にプリンタを作成する必要があります。

1. [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] を選択します。
2. [プリンタの追加] をダブルクリックし、プリンタのインストールを開始します。
3. [プリンタの追加ウィザード] 起動後、[次へ] をクリックします。
4. [ローカル プリンタ] をオンにし、[次へ] をクリックします。
5. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
6. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のドライバを使用（推奨）するか、新しいドライバと変更するかを選択できます。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 「CP-LA200 ピアツーピア印刷(LPR)ポートドライバのインストール」セクションの手順 6 で作成したポート（例 BLP1）を選択し、[次へ] をクリックします。
8. プリンタ名を入力し、[次へ] をクリックします。たとえば、「CP-LA200 ネットワーク プリンタ」などの名前をつけることができます。
9. テスト ページの印刷を行うかどうかを指定する画面で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

これで、CP-LA200 ピアツーピア印刷（LPR）のインストールは完了です。

CP-LA200 LPRポートの追加

CP-LA200 LPR ポートを追加するにはインストールプログラムの再実行は不要です。[スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。 設定するプリンタのアイコンをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。 [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。 [ポートの追加] ダイアログ ボックスの [その他] をオンにし、[CBN LPR Port] を選択します。[OK] をクリックし、ポート名を入力します。 デフォルトのポート名は BLP1 です。既に使用されている場合は、BLP2 など他の名称を使用してください。ポート名を入力したら、[OK] をクリックします。 [ポートの設定] ダイアログボックスが開きます。

プリンタの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。ここで作成したポートは、プリンタドライバの「印刷先のポート」で表示されます。

第 3 章

NetBIOS ピアツーピア印刷

Windows 95/98/Me/NT/2000/XP、LAN Server からの NetBIOS 印刷

概要

CP-LA200 プリント サーバーは、NetBIOS インターフェイスでの、TCP/IP プロトコル上の SMB（サーバー メッセージ ブロック）をサポートしています。 そのため、CP-B200 は、「ネットワークコンピュータ」として、通常の Windows コンピュータと同じように表示され、NetBIOS プロトコルを使用して印刷することができます。NetBIOS での印刷の最大のメリットは、Microsoft ネットワークに接続されているコンピュータ上で実行されている、従来の DOS アプリケーションから印刷を実行できることです。

すぐ使用する場合

1. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。このアドレスを変更するには、プリンタのコントロール パネルまたは BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバーなどを使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. ご使用のコンピュータでの IP アドレスの設定方法は、P8-1 をご参照ください。
3. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルト パスワードは access です。
4. このプリント サーバーのデフォルトのドメイン名は WORKGROUP です。 この名前を変更するには、BRAdmin Professional またはウェブ ブラウザを使用します。

プリント サーバーの設定

この機能を使用するには、ドメイン名またはワークグループ名をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に変更する必要があります。 名称を正しく設定すると、プリント サーバーが「ネットワークコンピュータ」として自動的に認識され、このプリンタに直接印刷することができます。 この機能を使用するのに特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。 ただ、Windows 95/98/Me および Windows NT4.0/2000/XP 上で複数のコンピュータから同時に印刷を行おうとすると、「プリンタが利用できません」のエラー メッセージが表示されることがあります。「CP-LA200 ピアツーピア印刷 (NetBIOS)ポート モニタ」ソフトウェアを使用すれば、使用中、電源が入っていない、用紙切れなどの場合にも、印刷ジョブのスプールを続行することができます。 ポート モニタによって、プリンタが利用できるようになるまで、印刷ジョブが PC 上に保留され、エラーメッセージは表示されません。
Windows 95/98/Me インストール時の所属先ワークグループの指定では、Windows 95/98/Me のデフォルト ワークグループ名は WORKGROUP ですが、任意の名前に変更できます。 Windows NT の場合は、「ドメイン」の概念が導入されています。 ドメインの場合は集中セキュリティ管理、ワークグループの場合は分散セキュリティ管理が使用されます。 このプリント サーバーでは、ネットワークの構成がワークグループでもドメインでも問題はありませんが、ワークグループまたはドメインの名称を正しく指定しなければなりません。CP-LA200 プリント サーバーのデフォルトのドメイン/ワークグループ名は WORKGROUP です。別の名称を使用している場合は、 プリント サーバーに対しても、同様の設定を行います。その方法は、次の 4 種類があります。

- BRAdmin Professional を使用する。 このユーティリティは、TCP/IP または IPX/SPX で動作します。（Netware ファイルサーバーは不要です。）
- ウェブ ブラウザを使用して IP アドレスを設定する。 プリント サーバーとコンピュータが TCP/IP で通信できることが必要です。
- TELNET を使用する。 プリント サーバーとコンピュータが TCP/IP で通信できることが必要です。
- DOS 用 BRCONFIG を使用する。 このユーティリティを使用するには、Netware ファイル サーバーと IPX プロトコルが必要です。

Microsoft ネットワークの仕様により、プリント サーバーが「ネットワークコンピュータ」（Windows 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）に表示されるまでに、数分かかる場合があります。 また、プリンタの電源をオフにした場合も、プリント サーバーが「ネットワークコンピュータ」（Windows 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）から削除されるまでに、数分かかる場合があります。これは Microsoft のワークグループまたはドメインをベースにしたネットワークの仕様です。

TELNET、BRCONFIG またはウェブブラウザを使用して、ワークグループ名/ドメイン名を変更する

BRAdmin Professional を使用することができない場合は、TELNET または BRCONFIG リモート コンソール プログラムを使用します（BRCONFIG を使用するには、コンピュータへの IPX/SPX プロトコルのインストールが必要です）。

プリント サーバーへの接続時に、# プロンプトに対しデフォルト パスワード access を入力します。 Enter u sername> プロンプトで任意の名前を入力すると、プロンプトが Local>に 変わります。

次のコマンドを入力します。

SET NETBIOS DOMAIN domainname
EXIT

domainname は、現在ログオンしているドメインまたはワークグループの名前です。

また、一般的な WWW ブラウザを使用して NetBIOS 名を変更することもできます。 その場合は IP アドレスを URL に入力してプリント サーバーに接続します。プリント サーバーの設定画面で [ネットワーク設定] の [NetBIOS 設定] ページを選択し、[ドメイン名] ボックスにワークグループ名またはドメイン名を入力します。 必ず OK を押して変更を反映させます。

Windows 95/98/Me、NT4.0/2000/XP 用 CP-LA200 ピアツーピア印刷（NetBIOS）

このソフトウェアを使用するには、Windows 95/98/Me、NT4.0/2000/XP コンピュータへ TCP/IP プロトコルのインストールが必要です。 このプロトコルのインストール方法については Windows のマニュアルをご参照ください。
TCP/IP プロトコルを使用する場合は、CP-LA200 プリント サーバーと Windows の両方に IP アドレスが正しく設定されている必要があります。

CP-LA200 ピアツーピア印刷（NetBIOS）のインストール

1. CD-ROM のインストール メニュー プログラムを実行します。
2. プリンタのモデル名と、ソフトウェア インストール メニューを選択します。次に、[ネットワーク印刷ソフトウェア] メニューを選択すると、CP-LA200 ネットワーク印刷ソフトウェア インストール プログラムが開きます。
3. [次へ] をクリックします。
4. [CP-LA200 ピアツーピア 印刷（NetBIOS）] を選択します。
5. CP-LA200 ピアツーピア 印刷（NetBIOS）をインストールするディレクトリを選択します。
6. 使用するポート名を入力します。 デフォルトポート名は、BNT1 です。別のポート名を使用する場合は、必ず BNTx（x は任意の名称）にしてください。[OK] をクリックします。
7. [印刷先の検出] ボタンを使用してプリント サーバーを探すことができます。その場合は、ドメイン/ワークグループ名を選択すると、プリンタが表示されます。 リストに表示されない場合は、ドメインが正しく設定されているかどうかを確認してください。 ドメイン名の設定に誤りがなければ、手動で入力してください。 入力する名称は、\\NodeName\ServiceName などのように、UNC（Universal Name Convention）に準拠している必要があります。

   この例の場合の NodeName は CP-LA200 プリント サーバーの NetBIOS 名で（デフォルト名は BRN_xxxxxx、この xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です）、ServiceName は、このプリント サーバーの NetBIOS のサービス名で、デフォルトでは BINARY_P1 です。 次の例を参照してください。

   \\BRN_310107\BINARY_P1

8. [OK] をクリックします。
9. [完了] をクリックし 、コンピュータの再起動をします。

プリンタへの関連付け

1. Windows のプリンタ設定手順を使って、Windows 95/98/Me、NT4.0/2000/XP システム上にプリンタを設定する必要があります。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] を選択します。(Windows XP をご使用の場合は、「スタート」をクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。)

Windows 95/98/Me の場合

2. [プリンタの追加] をダブルクリックし、プリンタのインストールを開始します。
3. [次へ] をクリックします。
4. [ローカル プリンタ] をオンにし、[次へ] をクリックします。
5. インストールするプリンタドライバを選択し、 [次へ] をクリックします。
6. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のドライバを使用（推奨）するか、新しいドライバと変更するかを選択します。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 「CP-LA200 ピアツーピア 印刷（NetBIOS）のインストール」セクションの手順 6 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
8. このプリンタの名称を入力し、[次へ] をクリックします。 例えば、「CP-LA200 ネットワーク プリンタ」などの名前を付けることができます。
9. テスト ページの印刷を行うかどうかを指定する画面で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

これで印刷の準備は完了です。 必要に応じ、このプリンタの共有を設定し、すべての印刷ジョブを、このコンピュータを通じて転送するようにします。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

2. [プリンタの追加] をダブルクリック（Windows XP をご使用の場合は、「プリンタのインストール」をクリック）し、プリンタのインストールを開始します。
3. [プリンタの追加ウィザード] が表示されたら、[次へ] をクリックします。(Windows 2000/XP のみ)
4. [このコンピュータ] （Windows 2000/XP の場合は[ローカルプリンタ] ）を選択し、[次へ] をクリックします。
5. 「CP-LA200 ピアツーピア 印刷（NetBIOS）のインストール」セクションの手順 6 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
6. インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のドライバを使用（推奨）するか、新しいドライバと変更するかを選択します。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
8. このプリンタの名称を入力し、[次へ] をクリックします。 たとえば、「CP-LA200 ネットワーク プリンタ」などの名前を付けることができます。
9. [プリンタの共有]の有無 を選択し、[次へ] をクリックします。（Windows XP の場合はプリンタの共有が許可されている場合のみ）
10. テスト ページの印刷を行うかどうかを指定する画面で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

これで印刷の準備は完了です。必要に応じ、このプリンタの共有を設定し、すべての印刷ジョブを、このコンピュータを通じて転送するようにします。

ポートの追加

1. ポートを追加するのに、インストール プログラムを再実行する必要はありません。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] を選択します。(Windows XP の場合は、「スタート」をクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。) 設定するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

Windows 95/98/Me の場合

2. [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。 [ポートの追加] ダイアログ ボックスの [その他] をオンにし、[CBN NetBIOS Port] を反転表示にします。 [OK] をクリックし、ポート名を入力します。 デフォルトのポート名は BNT1 です。 この名称がすでに使用されている場合は、BNT2 などの名前を使用します。 ポート名を入力したら、[OK] をクリックします。 [ポートの設定] ダイアログ ボックスが開きます。 プリント サーバー名とサービス名を入力し、[OK] をクリックします。 ここで作成したポートは、プリンタ ドライバの「印刷先のポート」の設定で表示されます。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

2. [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。 [利用可能なポートの種類] ボックスで、「CBN NetBIOS Port」を反転表示にします。 [新しいポート] をクリックし、ポート名を入力します。デフォルトのポート名は BNT1 です。この名称が既に使用されている場合は、BNT2 などの名前を使用します。ポート名を入力したら、[OK] をクリックします。 [ポートの設定] ダイアログボックスが開きます。プリントサーバー名とプリンタのポート名を入力し、[OK] をクリックします。ここで作成したポートは、プリンタ ドライバの「印刷するポート」の設定で表示されます。

第 4 章

4 インターネット印刷

Windows 95/98/Me および NT 4.0/Windows 2000/XP からのインターネット印刷

概要

Windows 95/98/Me/NT4.0 用 CP-LA200 インターネット印刷ソフトウェアを使用すると、インターネットを通じてプリンタに印刷ジョブを送ることができます。 たとえば、東京にあるコンピュータ上の Microsoft Excel アプリケーション プログラムから、大阪にあるプリンタで直接ドキュメントを印刷することができます。

Windows 2000/XP の場合もこのソフトウェアを使用することができますが、標準サポートされている IPP プロトコルを使用することをお勧めします。詳細はこの章の「Windows 2000/XP でのインターネット印刷」をご参照ください。

すぐ使用する場合

1. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。このアドレスを変更するには、プリンタのコントロール パネルまたは BRAdmin Professional を使用するか、DHCP サーバーを使用してプリンタにアドレスを割り当てます。
2. ご使用のコンピュータでの IP アドレスの設定方法は、この取扱説明書の P8-1 をご参照ください。
3. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルト パスワードは access です。
4. Windows 2000/XP の場合は標準の IPP プロトコルを使用し、インターネット印刷ができます。
5. Windows 95/98/Me の場合は、IPP プロトコルを使用して、Windows 2000 コンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送ることができます。 ただし、Windows 2000 コンピュータで IIS が実行され、クライアント コンピュータに Microsoft Internet Print Services ソフトウェアがインストールされ、Microsoft Internet Explorer のバージョン 4 以降を使用する必要があります。

CP-LA200インターネット印刷

CP-LA200 インターネット印刷ソフトウェアは、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP の標準インストール ウィザードを使用してインストールします。 このソフトウェアを使用すると、Windows コンピュータ上に、アプリケーションから標準プリンタ ポートとして取り扱うことのできる仮想ポートが作成されます。Windows の印刷マネージャを使用して、Windows 互換プリンタの場合と同じように、このポートを使用するプリンタを作成できます。Windows の任意のアプリケーション プログラムから、このプリンタ（つまり、この仮想ポート）に印刷ジョブを出力することができます。 操作手順の変更は一切不要です。

印刷ジョブが仮想ポートに出力されると、電子メール メッセージにデータが変換され、電子メールサーバーを使用して、リモート環境の CP-LA200 プリント サーバーに送信されます。 つまり、CP-LA200 インターネット印刷は一般的な電子メールソフトウェアパッケージと互換性があります。CP-LA200 インターネット印刷を使用するには電子メール サーバーから、インターネット上に電子メール メッセージを送信できる必要があります。

次に、もう少し詳細に、その動作を説明します。

- ローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続している場合は、電子メール メッセージはメール サーバーに送信され、SMTP プロトコル（Simple Mail Transport Protocol）を使用して、インターネットを通じ、CP-LA200 プリント サーバーに転送されます。

- モデムを使用して直接インターネット サービス プロバイダ（ISP）に接続している場合は、この電子メールの CP-LA200 プリント サーバーへの転送は ISP で処理されます。

- 受信先ではメールサーバから受け取ったメールを POP3 (Post Office Protocol 3)を使用してダウンロードし，添付ファイルを印刷します。

プリントサーバーは CP-LA200 インターネット印刷以外のメールを受信した場合、テキストとしてプリンタに出力します。

プリント サーバーの設定

このプリント サーバーは、BRAdmin Professional のほか、ウェブ ブラウザまたは TELNET コマンドを使用して設定することができます。

プリント サーバーの設定チェック リスト

プリント サーバーでの CP-LA200 インターネット印刷ジョブの受信設定を行う前に、受信側のメール サーバーで、POP3 プロトコルと SMTP プロトコルの設定を行う必要があります。

1. 受信側のメール サーバーに、メールアカウントを追加します。
2. CP-LA200 プリントサーバーにメールアカウントとアカウントのパスワードを設定します。
3. プリント サーバーの POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

ほとんどのネットワークでは、メール サーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバ管理者にアカウント設定の依頼をする必要があります。

BRAdmin Professionalを使用してプリントサーバーを設定する

プリントサーバーの設定に TELNET コマンドまたはウェブブラウザを使用する場合は、このセクションを飛ばしてください。

BRAdmin Professional は TCP/IP プロトコルまたは IPX プロトコルを使用してプリントサーバの各種設定をすることができます。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP コンピュータから送信された印刷ジョブを、プリントサーバーで受信するように設定するには、次の手順を実行します。

1. BRAdmin Professional を起動します。
2. 設定を行うプリント サーバーをリストから選択し、ダブルクリックします。デフォルトのパスワードは access です。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

3. [POP3/SMTP] タブをクリックします。
4. POP3 サーバーの IP アドレスを入力します。 アドレスが分からない場合はメールサーバ管理者にお尋ねください。
5. [POP3 アカウント]の[名前]に受信側 プリント サーバーのアカウント名を入力します。 メール アドレスの@以前の部分がアカウント名になっていることが多いです。 たとえば、メール アドレスが emailprinter@xyz.com の場合は、アカウント名は emailprinter です。詳しくはメールサーバ管理者にお問い合わせください。
6. 必要に応じて、アカウント用のパスワードがあれば入力します。
7. プリント サーバーは、デフォルトでは 30 秒間隔でメールサーバーへの印刷ジョブの到着を確認するように設定されます。この設定は必要に応じて変更できます。
8. 印刷結果通知機能を使用する場合は、SMTP サーバーの IP アドレスを入力します。アドレスが不明の場合はメールサーバ管理者にお尋ねください。
9. [OK] をクリックし、設定した内容を保存します。BRAdmin Professional を終了します。これで、プリントサーバーで印刷ジョブを受信、印刷することができます。

ウェブブラウザを使用してプリントサーバーを設定する

1. ウェブブラウザを使用して、URL に IP アドレスを入力してプリントサーバーに接続します。
2. [ネットワーク設定]をクリックします。デフォルト パスワードは access です。
3. [POP3/SMTP 設定] を選択し、必要な情報を入力します。プリント サーバーの設定については前の項目の「BRAdmin Professional を使用してプリントサーバを設定する」をご参照ください。

TELNETを使用してプリント サーバーを設定する

プリント サーバーの設定に BRAdmin Professional またはウェブ ブラウザを使用する場合は、このセクションを飛ばしてください。

BRAdmin Professional を使用する代わりに、プリント サーバー リモート コンソールを使用して、プリント サーバーの設定を行うことができます。 このコンソールには TELNET を使用してアクセスします。 このユーティリティを使用しているプリント サーバーにアクセスするには、パスワードが必要です。 デフォルトのパスワードは access です。

1. コンソールに接続した後の Local> プロンプトで、次のコマンドを入力します。
   SET POP3 ADDRESS ipaddress
   ipaddressはPOP3サーバーのIPアドレスです。 このアドレスが不明の場合はネットワーク管理者にお尋ねください。
2. 次のコマンドを入力します。
   SET POP3 NAME mailboxname
   SET POP3 PASSWORD emailpassword
   mailboxnameは受信側プリント サーバーのアカウント名、emailpasswordはそのアカウントに対するパスワードです。 通常は、メールボックス名は定義済みの電子メール アドレスの最初の部分と同じです。 たとえば、電子メール アドレスがemailprinter@xyz.comの場合は、メールボックス名はemailprinterです。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。
3. プリント サーバーは、デフォルトでは 30 秒間隔でサーバーへの印刷ジョブの到着を確認するように設定されます。 この値を変更するには、次のコマンドを入力します。
   SET POP3 POLLING rate
   rateは秒単位のポーリング間隔です。
   EXITとタイプしてコンソールを終了し、設定した内容を保存します。 これでプリント サーバーの設定は完了です。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPへのCP-LA200 インターネット印刷ソフトウェアのインストール

Windows 95/98/Me/NT4.0 コンピュータに CP-LA200 インターネット印刷ソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。

- コンピュータで実行されている電子メールソフト（メーラー）が、電子メールを送信できることを確認します（Microsoft Outlook など）。
- メール サーバーからインターネットを通じて電子メールを送信できることを確認して下さい。

CD-ROM からのインストール

1. CD-ROM のインストール メニュー プログラムを実行します。
2. プリンタのモデル名と、「ソフトウェアのインストール」を選択します。 次に、[ネットワーク印刷ソフトウェア] メニューを選択すると、CP-LA200 ネットワーク印刷ソフトウェア インストール プログラムが開きます。
3. 最初の案内画面で [次へ] をクリックします。
4. [CP-LA200 インターネット印刷] を選択します。
5. CP-LA200 インターネット印刷プログラムのインストール先ディレクトリを選択し、[次へ] をクリックします。 指定したディレクトリが存在しない場合は、自動的に作成されます。
6. ポート名の入力が必要です。 ポート名を入力します。 ポート名は、BIP1 のように BIP で始まり、番号で終わります。
7. [OK] をクリックして作業を続行します。
8. 次に、リモートプリント サーバのポートの設定を行います。リモート プリント サーバのインターネット電子メール アドレスを入力します（emailprinter@xyz.com など）。インターネット電子メール アドレスには、スペース文字などを使用することはできません。[SMTP サーバー名または IP アドレス]と[印刷者の電子メールアドレス]を入力します。 このアドレスが分からない場合はネットワーク管理者にお尋ねください。
9. [OK] をクリックし、コンピュータを再起動します。

10. 再起動後、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP の標準プリンタ設定手順を使用して、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP システム上にプリンタを作成する必要があります。（既にプリンタドライバをインストールしてある場合は必要ありません） [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。(Windows XP の場合は、「スタート」をクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。)
11. [プリンタの追加] をダブルクリックし、プリンタのインストールを開始します。
12. プリンタの追加ウィザードが表示されたら、[次へ] をクリックします（Windows 95/98/Me/2000/XP のみ）。
13. プリンタの接続先の選択では、[ローカル プリンタ]（Windows 95/98/Me/2000/XP）、または[このコンピュータ]（Windows NT4.0）を選択し、[次へ] をクリックします。

〈Windows 95/98/Me の場合〉

14. リモート プリンタのモデル名（CP-B200）を選択します。 必要に応じ、[ディスク使用] をクリックして、CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。 プリンタドライバを選択したら、[次へ] をクリックします。
15. 既使用のプリンタドライバを選択した場合は、既存のプリンタドライバを使用（推奨）するか、新しいプリンタドライバと交換するかを選択します。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
16. 手順 6 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。

〈 Windows NT4.0/2000/XP の場合〉

14. 手順 6 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
15. リモート プリンタのモデル名（CP-B200）を選択します。 必要に応じ、[ディスク使用] をクリックして、CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。 プリンタドライバを選択したら、[次へ] をクリックします。
16. 既使用のドライバを選択した場合は、既存のプリンタドライバを使用（推奨）するか、新しいプリンタドライバと交換するかを選択します。 どちらかを選択し、[次へ] をクリックします。
17. リモート プリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。 この名称は、手順 6 で指定したポート名、または手順 8 で指定した電子メール アドレスと、特に一致している必要はありません。
18. テスト ページの印刷の選択では、リモート CP-LA200 プリント サーバで印刷ジョブの受信を行う設定が済んでいる場合を除き、[いいえ] を選択します。

これで、ソフトウェアのインストールは完了です。ほかにもリモート CP-LA200 プリントサーバーを設定する必要がある場合は、次の「ポートの追加」をご参照ください。

ポートの追加

ポートを追加するのに、インストール プログラムを再実行する必要はありません。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。(Windows XP の場合は、「スタート」をクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。) 設定するプリンタのアイコンをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。 [詳細]（Windows NT/2000/XP の場合は [ポート]）タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。

[ポートの追加] ダイアログ ボックスの [その他] をオンにし（Windows 95/98/Me のみ）、[CBN Internet Port] をクリックします。 [OK]（Windows NT/2000/XP の場合は [新しいポート]）をクリックし、[ポート名] の入力に移ります。 BIP で始まる他のポートと重ならない名前を入力します。

Windows 2000/XPでのインターネット印刷

Windows 2000/XP の IPP 印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。

1. プリンタの追加ウィザードを開き、「プリンタの追加ウィザードの開始」画面の [次へ] をクリックします。
2. この画面では、[ローカル プリンタ] または [ネットワーク プリンタ] の選択を行うことができます。 [ネットワーク プリンタ] を選択します。
3. [プリンタの検索] 画面が表示されます。
4. [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] ラジオボタンをオンにし、[URL:] ボックスに次の URL を入力します。
   http://printer_ip_address:631/ipp
   printer_ip_address はプリンタの IP アドレスまたは DNS 名です。
5. [次へ] をクリックすると、指定した URL に接続されます。

必要なプリンタ ドライバがインストールされている場合

適合するドライバがコンピュータにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。 この場合は、そのドライバをデフォルト ドライバにするかどうかを選択すると、ドライバ インストール ウィザードが閉じます。 これで印刷の準備は完了です。

必要なプリンタ ドライバがインストールされていない場合

IPP 印刷プロトコルのメリットの 1 つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタ ドライバの種類を Windows 2000/XP に対して指定する必要はありません。

6. [OK] をクリックすると、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。
7. 使用するプリンタがサポートされているプリンタのリストにない場合は、[ディスク使用] をクリックします。 ドライバ ディスクを挿入する画面が表示されます。
8. [参照] をクリックし、目的の CP-B200 プリンタ ドライバが格納されている、CD-ROM、ネットワーク共有、またはフロッピー ディスクを選択します。
9. プリンタのモデル名を指定します。
10. インストールするプリンタ ドライバにデジタル署名がない場合は、警告メッセージが表示されます。 [はい] をクリックして、インストールを続行します。 これで、プリンタ追加ウィザードでの作業は終わりです。
11. [完了] をクリックします。 プリンタの印刷準備が完了しました。 プリンタとの接続をテストするために、テスト ページを印刷します。

別のURLを指定する

[URL] ボックスには、次の何種類かのエントリが可能です。
http://printer_ip_address:631/ipp
デフォルトの URL です。 この URL の使用をお勧めします。

http://printer_ip_address:631/
URL の詳細を忘れた場合は、このテキストだけでもプリンタに受け付けられ、データが処理されます。

CP-LA200 プリントサーバーに内蔵されているサービス名を使用する場合は、次の URL も使用できます。 ただし、「詳細」をクリックしてもプリンタのデータは表示されません。

http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1
http://printer_ip_address : 631/binary_p1
http://printer_ip_address : 631/text_p1
http://printer_ip_address : 631/postscript_p1
http://printer_ip_address : 631/pcl_p1
http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1_at

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスです。

第 5 章

Novell NetWare での印刷

Novell NetWare からの印刷の設定方法

概要

CP-LA200 プリント サーバーを使用すると、TCP/IP 環境下等で使用しているプリンタに、NetWare クライアント コンピュータから印刷ジョブを出力することができます。
NetWare での印刷ジョブは、すべて Novell サーバーにスプールされ、プリンタが印字可能になるとプリンタに送られます。

一般的事項

CP-LA200 プリント サーバーを NetWare ネットワークで使用するには、このプリント サーバーからサービスを行うことのできる印刷キューを、ファイル サーバー上に設定する必要があります。 印刷ジョブはファイル サーバーの印刷キューに送られ、直接、または、リモート プリント サーバーの場合は中間プリント サーバーを通じて、CP-LA200 プリント サーバーにスプールされます。

システム管理者は、BRAdmin Professional を使用して、ネットワーク環境下に Bindery（NetWare 3）または NDS（NeWare 4 および NetWare 5）ベースのキューを作成できます。 アプリケーションの切り替えは必要ありません。
NetWare 5 で NDPS プリンタを設定する場合は、NetWare 5 に付属の NWADMIN アプリケーションを使用する必要があります。 BRAdmin Professional を使用して、IPX BINDERY または NDS ベースのキューを NetWare 5 システム上に作成することができます。

BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。

BRAdmin Professional が使用できない場合は、NetWare PCONSOLE ユーティリティ、または NWADMIN ユーティリティを使用してキューを作成できますが、BRCONFIG ユーティリティ、TELNET、または WWW ブラウザを使用してプリント サーバーの設定を行う必要があります。 これについては後述します。

CP-LA200 プリント サーバーは、最大 16 のファイル サーバーと 32 のキューに対してサービスを行うことができます。

NetWare5用NWADMINを使用してNDPSプリンタを作成する

Novell NetWare 5 で、Novell 分散印刷（NDPS）と呼ばれる新しい印刷システムがリリースされました。CP-LA200 プリント サーバーの設定を行う前に、NetWare 5 サーバーへの NDPS のインストールと、サーバー上での NDPS マネージャの設定が必要です。

NDPSマネージャ

このセクションでは、NDPS マネージャの作成方法を説明します。
サーバー ベースの印刷エージェントを作成する前に、NDS ツリー内に NDPS マネージャを作成する必要があります。 サーバーに直接接続されているプリンタを NDPS マネージャで制御する場合は、プリンタの接続されているサーバーにマネージャをロードしなければなりません。

1. NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、NDPS マネージャをロードするエリアに移動します。[オブジェクト]、[作成]、[NDPS マネージャ] の順に選択し [OK] をクリックします。
2. NDPS マネージャ名を入力します。
3. NDPS マネージャをインストールするサーバー（NDPS はインストール済みで NDPS マネージャは未インストール）を探し、NDPS マネージャ データベースを割り当てるボリュームを指定します。 [作成] をクリックします。

NDPSブローカー

NDPS をインストールすると、NDPS ブローカーがネットワーク上にロードされます。ブローカーサービスの 1 つのリソース管理サービスにより、プリンタ エージェントで使用するプリンタ ドライバをサーバー上にインストールすることができます。
プリンタ ドライバをブローカーに追加するには

1. リソース管理サービスが有効になっていることを確認します。
2. NetWare アドミニストレータで、ブローカー オブジェクトのメイン ウィンドウを開きます。
3. [リソース管理ビュー] を選択します。
4. [リソース管理] ダイアログ内の [リソースの追加] をクリックします。
5. [リソース管理] ダイアログが表示されたら、追加するプリンタドライバのタイプを表しているアイコンをクリックします。 NetWare 5 用の、3.1x、95/98/Me、または NT4.0 ドライバがあります。（NetWare 5.1 では Windows 2000 ドライバもサポートされています。） NetWare 4.x で NDPS バージョン 1 を使用している場合は、3.1x と 95/98/Me しか使用できません。 NetWare 4.x 用 NDPS バージョン 2 では NT ドライバの自動ダウンロードがサポートされます。
6. 選択したタイプの、現在ロードされているすべてのリソースのリストが、[現在のリソース] ウィンドウに表示されます。 [追加] をクリックします。
7. [<リソース タイプ>の追加] ダイアログが表示されます。 この画面に表示されたリソースが現在インストールされています。
8. [参照] をクリックし、このリストに追加するドライバを探します。 ドライバ リストに複数のプリンタが表示されることがあります。 これは多言語をサポートするドライバですが、INF ファイルから必要な言語を選択することはできません。 また、どの言語がどれかも識別できません。

プリンタ エージェントの作成

プリンタエージェントをコントロールアクセスプリンタ（NDS オブジェクト）用として作成する場合は、次の手順を実行します。

1. NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、[オブジェクト]、[作成]、[NDPS プリンタ] の順に選択します。 NDPS プリンタ名を入力します。
2. 新しいプリンタの場合は、[新しいプリンタ エージェント] を選択します。
3. 既存の NDS プリンタを NDPS を使用するようにアップグレードする場合は、[既存の NDS プリンタ オブジェクト] を選択します。 アップグレードするプリンタ オブジェクトを選択します。
4. このプリンタ エージェントを参照する名前を入力し、NDPS マネージャの名前を入力するか、または参照ボタンをクリックして、NDPS マネージャを選択します。 このプリンタ エージェント用のゲートウェイタイプとして[Novell プリンタゲートウェイ]を選択して、[OK] をクリックします。
5. プリンタタイプとして[None]、ポートハンドラタイプとして[Novell ポートハンドラ]を選択し、[OK]をクリックします。
6. 次に、使用する接続のタイプを指定します。 選択可能なオプションは 4 つありますが、[LPR on IP] を選択します。
7. プリンタの関連情報を入力します。 プリンタ名として Binary_P1 の使用をお勧めします。 [完了] をクリックして、しばらくお待ちください。 クライアント オペレーティング システム用プリンタ ドライバを選択します。

プリンタエージェントをパブリックアクセスプリンタ用に作成する場合は、次の手順を実行します。

1. NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、NDPS マネージャをダブルクリックします。
2. [プリンタエージェントリスト]をクリックします。
3. [新規]をクリックします。
4. このプリンタエージェントを参照する名前を入力し、ゲートウェイタイプとして[Novell プリンタゲートウェイ]を選択して[OK]をクリックします。
5. コントロールアクセスプリンタの場合の手順５～７と同じ手順を実行します。

これで印刷の準備は完了です。

Netware 3およびNetWare 4システムの設定

BRAdmin Professional は、NetWare PCONSOLE（NetWare 4.1x 以降では NWADMIN）ユーティリティと同じような機能を備えた Windows ベースのアプリケーションです。BRAdmin Professional を使用して NetWare 上の CP-LA200 プリント サーバーの設定を行うには、SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降）としてログインし、以降のページに説明する適切な手順を実行する必要があります。

BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。

CP-LA200プリント サーバー（Binderyエミュレーション モードでのキュー サーバー モード）の設定にBRAdmin Professionalを使用する

1. SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降）でサーバにログインします。
2. BRAdmin Professional を起動します。
3. リストに 1 つ以上のプリント サーバーが表示されます。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

4. 設定を行うプリント サーバーをダブルクリックします。 パスワードの入力が必要です。 デフォルトのパスワードは access です。
5. [NetWare] タブを選択します。

必要に応じ、[プリント サーバー名] を変更します。 デフォルトの NetWare プリント サーバー名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx はプリント サーバーの Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。 この名前を変更すると、プリント サーバー サービス名が変更されるため、他のプロトコルの設定に影響を与える可能性がありますので注意して下さい。

a [動作モード]としてまだ [キュー サーバー] を選択していない場合は選択します。
b [バインダリキューの変更] をクリックします。
c 設定を行う NetWare サーバーを選択します。
d [作成] をクリックし、作成するキューの名前を入力します。
e 作成するキューの名前が反転表示されます。 [追加] をクリックします。
f [閉じる] をクリックし、[OK] をクリックします。

BRAdmin Professional を終了します。 これで印刷の準備は完了です。

CP-LA200プリント サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定にBRAdmin Professionalを使用する

1. NDS モードの ADMIN としてログインします。
2. BRAdmin Professional を起動します。
3. プリンタのリストに 1 つ以上のプリント サーバー サービスが表示されます。デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

4. 設定を行うプリンタをダブルクリックします。 パスワードの入力が必要です。デフォルトのパスワードは access です。
5. [NetWare] タブを選択します。

    a [動作モード]としてまだ [キューサーバー] を選択していない場合は選択します。
    b 正しい NDS ツリーと NDS コンテキストを選択します。 この情報を手動で入力するか、NDS ツリーのそばにある下向き矢印をクリックして NDS ツリーを選択し、NDS コンテキストのそばにある [変更] をクリックして NDS コンテキストを選択します。この情報を入力したら、[NDS キューの変更] をクリックします。
    c [Netware プリントキュー] の画面で、適切なツリーとコンテキストを選択し、[作成] をクリックします。
    d キュー名を入力し、ボリューム名を指定します。 ボリューム名が分からない場合は [参照] をクリックし、NetWare ボリュームを探します。入力した情報に誤りがなければ、[OK] をクリックします。
    e 作成したキュー名が、指定したツリーとコンテキストに表示されます。このキューを選択し、[追加] をクリックします。 このキュー名が [サービス中のプリントキュー] ウィンドウに移動します。 キュー名情報に加えてツリーとコンテキストの情報も、このウィンドウに表示されます。
    f [閉じる] をクリックします。 これで、CP-LA200 プリント サーバーは、適切な NetWare サーバーにログインします。

BRAdmin Professional を終了します。 これで印刷の準備は完了です。

CP-LA200プリント サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定に、Novell NWADMINとBRAdmin Professionalを使用する

NetWare ファイル サーバーの設定に、BRAdmin Professional と NWADMIN アプリケーションを併用する場合は、次の手順を実行します。

1. NetWare 4.1x 以降のファイル サーバーに、NDS モードの ADMIN としてログインし、NWADMIN アプリケーションを起動します。
2. 目的のプリンタを作成するコンテキストを選択し、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。 [新しいオブジェクト] メニューで [プリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。
3. プリンタ名を入力し、[作成] を選択します。
4. プリントキューを作成するコンテキストを選択し、[オブジェクト]、 [作成]をクリックして [新しいオブジェクト] メニューにアクセスします。
5. [プリントキュー] を選択し、[OK] をクリックします。 [ディレクトリ サービス キュー] を選択し、プリントキューの名前を入力します。
6. プリントキュー ボリュームを選択するボタンをクリックします。 必要に応じてディレクトリ コンテキストを変更し、[使用可能なオブジェクト] から目的のボリュームを選択し、[OK] をクリックします。 [作成] をクリックし、印刷キューを作成します。
7. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 3 で作成したプリンタ名をダブルクリックします。
8. [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。必要に応じてコンテキストを変更し、手順 5 で作成したプリントキューを選択します。
9. [設定] をクリックし、[プリンタの種類] を「その他/不明」に設定します。 [OK] をクリックします。
10. 必要に応じてコンテキストを変更し、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。 [新しいオブジェクト] メニューで [プリント サーバー] を選択し、[OK] をクリックします。
11. プリント サーバー名を入力し、[作成] を選択します。

プリント サーバーの NetWare プリント サーバー名を、BRAdmin Professional の [NetWare] タブに表示されるとおりに入力します。 名前を変更していなければ、通常は、デフォルトのサービス名 BRN_xxxxxx_P1 です。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

重要事項

プリント サーバーにパスワードを設定しないでください。 設定するとログインできなくなります。

12. プリント サーバーの名前をダブルクリックします。 [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。
13. 必要に応じディレクトリ コンテキストを変更します。 手順 3 で作成したプリンタを選択し、[OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックします。
14. NWADMIN を終了します。
15. BRAdmin Professional を起動し、リストからプリント サーバーの名称を選択します。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx です。 ここで、xxxxxx はプリントサーバーの Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。
16. 設定を行う CP-LA200 プリント サーバーをダブルクリックします。 デフォルトのパスワードは access です。 次に、[NetWare] タブを選択します。
17. 動作モードとして [キュー サーバー] を選択します。

NetWare サーバー名によって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバー モードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。

デフォルトの NetWare サービスではないサービスでキュー サーバー機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。 詳しい方法は、このマニュアルの「付録 B」をご参照ください。

18. NDS ツリー名を入力します。 プリント サーバーは、NDS キューとバインダリ キューの両方に対してサービスを行うことができます。
19. プリント サーバーをロードするコンテキスト名を入力します。
20. 設定した内容を保存したことを確認して、BRAdmin Professional を終了します。これで印刷の準備は完了です。

CP-LA200プリントサーバー（NDSモードでのリモートプリンタモード）の設定に、Novell NWAdminとBRAdmin Professionalを使用する

NWADMIN（NetWare 管理ユーティリティ）と BRAdmin Professional を使用して、CP-LA200 プリント サーバーをリモート プリンタ モードに設定するには、次の手順を実行します。

1. NetWare 4.1x ファイル サーバーに PSERVER NLM（NetWare Loadable Module）がロードされていることを確認し、ファイル サーバーに NDS モードで ADMIN としてログインします。
2. [NWADMIN] アイコンをダブルクリックして起動します。 新しいプリンタを作成するコンテキストを選択します。
3. [オブジェクト] メニューの [作成] を選択します。 [新しいオブジェクト] メニューで [プリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。
4. プリンタ名を入力し、[作成] を選択します。
5. PSERVER NLM のプリント サーバーの名前をダブルクリックします。 [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。
6. 必要に応じディレクトリ コンテキストを変更します。 作成したプリンタを選択し、[OK] をクリックします。 後で必要になるためプリンタ番号をメモに記録し、[OK] をクリックします。
7. プリントキューを作成するコンテキストを選択し、[オブジェクト]、 [作成]をクリックして [新しいオブジェクト] メニューにアクセスします。
8. [プリントキュー] を選択し、[OK] をクリックします。 [ディレクトリ サービス キュー] を選択し、プリントキューの名称を入力します。
9. プリントキュー ボリュームを選択するボタンをクリックします。 必要に応じてディレクトリ コンテキストを変更し、ボリューム（オブジェクト）を選択して、[OK] をクリックします。 [作成] をクリックし、プリントキューを作成します。
10. 必要に応じてコンテキストを変更し、前の手順で作成したプリンタ名をダブルクリックします。
11. [割り当て] をクリックし、[追加] をクリックします。
12. 必要に応じてコンテキストを変更し、作成したプリントキューを選択します。 [OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックして、NWADMIN を終了します。

13. BRAdmin Professional を起動し、設定するプリンタを正しく選択します。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx_P1 です。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

14. プリント サーバーをダブルクリックします。 デフォルトのパスワードは access です。
15. 次に、[NetWare] タブを選択します。
16. [動作モード] として [リモート プリンタ] を、[プリントサーバー] として 手順 5 で指定したプリントサーバー名を、[プリンタ番号] として手順 6 で記録したプリンタ番号を選択します。

NetWare プリント サーバーによって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバー モードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。 デフォルトの NetWare サービスではないサービスでリモート プリンタ機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。詳しい方法は、このマニュアルの「付録 B」をご参照ください。

17. [OK] をクリックし、 BRAdmin Professional を終了します。

ここで、いったんファイル サーバー コンソールから PSERVER NLM をアンロードし、設定した内容を反映するために再ロードする必要があります。

CP-LA200 の BRAdmin Professional や Novell NWADMIN アプリケーションではなく、CP-LA200 の BRCONFIG プログラムと標準の Novell PCONSOLE ユーティリティを併用して印刷キューの設定を行うこともできます。 BRCONFIG プログラムは BRAdmin Professional のインストール時に同時にインストールされ、[スタート] をクリックし、[プログラム]-[CASIO SPEEDIA CP-B200] をポイントして [BRAdmin Professional Utility] をクリックし、[BRCONFIG]をクリックすると起動できます。 また、製品に同梱されている CD-ROM からも起動できます。 必要に応じ、BRCONFIG ユーティリティではなく、WWW ブラウザや TELNET ユーティリティも使用できます。

CP-LA200プリントサーバー（Binderyエミュレーション モードでのキュー サーバー モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する

1. Supervisor（NetWare 3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降、バインダリ モードの場合は/b オプションの指定が必要）としてログインします。
2. Windows のメニューから BRCONFIG を実行します。
3. プリント サーバーのリストで対応するサーバー名を選択します。
4. プリント サーバーへの接続メッセージが表示されたら、# プロンプトに対してデフォルトのパスワード access を入力し（入力したパスワードは表示されません）、Enter Username> プロンプトに対し何も入力せずに<ENTER>キーを押します。
5. Local> プロンプトに対し、次のコマンドを入力します。

   SET NETWARE SERVER servername ENABLE

   servername は、印刷キューを作成するファイル サーバーの名前です。 複数のファイル サーバーから印刷を行う場合は、このコマンドを必要なだけ繰り返します。

6. EXIT と入力し、設定した内容を保存して BRCONFIG リモート コンソール プログラムを終了し、次に Novell PCONSOLE ユーティリティを起動します。

7. NetWare 4.xx の場合には＜F4＞キーを押して Bindery モードに切り替えます。[使用可能な項目] メニューで、[プリント サーバー情報]（NetWare 3.xx）または [プリント サーバー] (NetWare 4.xx) を選択します。（NetWare 4.xx の場合、警告メッセージが表示されますが、無視してください。）
8. 現在のプリント サーバーのリストが表示されます。 新しいエントリを作成するために<INSERT>キーを押し、NetWare プリント サーバー名を入力して（デフォルトでは BRN_xxxxxx_P1 で xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁）、<ENTER>キーを押します。 <ESCAPE>キーを押し、元の [使用可能オプション] メニューに戻ります。
9. [プリントキュー情報]（NetWare 3.xx）または [プリントキュー]（NetWare 4.1x）を選択し、設定済みプリントキューのリストを表示します。
10. 新しいキューを作成するために<INSERT>キーを押し、作成するキューの名称を入力して<ENTER>キーを押します。 この名称はプリント サーバー リソースと関連のない名称でもかまいませんが、簡潔で短く覚えやすい名前を使用します。
11. 新しいキュー名が反転表示されていることを確認し、このキューの設定を行うために<ENTER>キーを押します。
12. [キュー サーバー]（NetWare 4.1x の場合は [プリント サーバー]）を選択して<ENTER>キーを押し、この印刷キューから印刷ジョブを出力するネットワーク プリント サーバーを指定します。 新しいキューの場合は、関連付けられているプリント サーバーはありませんから、このリストには何も表示されません。
13. <INSERT>キーを押して選択可能なキュー サーバーのリストを表示し、手順 8 のサーバー サービス名を選択して<ENTER>キーを押します。
14. <ESCAPE>キーを数回押して、元の [使用可能オプション] メニューに戻ります。
15. プリント サーバーに印刷ジョブ用ファイル サーバーの再スキャンを実行させます。プリンタの電源を入れなおすか、または BRCONFIG または TELNET の SET NETWARE RESCAN コマンドを使用し、プリント サーバーにファイル サーバーの再スキャンを実行させます。

CP-LA200プリント サーバー（NDSモードでのキュー サーバー モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する

1. NetWare 4.1x ファイル サーバーに、NDS モードの ADMIN としてログインします。
2. ワークステーションから PCONSOLE ユーティリティを実行します。
3. [利用可能な項目] メニューの [プリント サーバー] を選択します。
4. <INSERT>キーを押し、プリント サーバー名を入力します。

プリント サーバーの NetWare プリント サービス名を、プリンタ設定ページに表示されるとおりに入力します。 名前を変更していなければ、デフォルト名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

重要事項
プリント サーバーにパスワードを設定しないでください。 設定するとログインできなくなります。

5. <ESCAPE>キーを押し、元の [利用可能な項目] メニューに戻ります。
6. [プリントキュー] を選択します。
7. <INSERT>キーを押し、プリントキュー名を入力します。 ボリューム名の入力も必要です。 <INSERT>キーを押し、適切なボリューム名を選択します。 <ESCAPE>キーを押し、メイン メニューに戻ります。
8. 新しいキュー名が反転表示されていることを確認し、<ENTER>キーを押します。
9. [プリント サーバー] を選択し、このプリントキューから印刷ジョブを出力するネットワーク プリント サーバーを指定するために<ENTER>キーを押します。 プリント サーバーの指定は初めてのため、リストには何も表示されません。
10. <INSERT>キーを押すと、使用可能なキュー サーバーのリストが表示されます。 このリストで手順 4 のプリント サーバー名を選択すると、リストに追加されます。<ENTER>キーを押します。

11. [利用可能な項目] メニューの [プリンタ] を選択します。
12. <INSERT>キーを押し、プリンタ名を入力し、＜ENTER＞キーを押します。
13. 作成したプリンタが反転表示されているのを確認して、＜ENTER＞キーを押します。[プリンタの環境設定]画面が表示されます。
14. [プリントキュー割当て] :（リスト参照）を選択して＜ENTER＞キーを押します。まだプリントキューの割当てはありませんので、プリントキューのリストには何も表示されません。
15. ＜Insert＞キーを押してプリントキューのリストを表示させ、手順 7 で作成したプリントキューを選択して＜ENTER＞キーを押します。
16. <ESCAPE>キーを押し、[利用可能な項目] メニューに戻ります。
17. [プリント サーバ] を選択し、手順 4 で入力したプリント サーバ名を選択します。
18. [プリント サーバー情報] メニューの [プリンタ] オプションを反転表示にします。
19. <INSERT>キーを押し、手順 12 で入力したプリンタ名を選択します。
20. <ESCAPE>キーを数回押し、PCONSOLE を終了させます。
21. BRCONFIG を起動し、プリント サーバのリストでプリント サーバを選択します。 プリント サーバへの接続メッセージが表示されたら<ENTER>キーを押し、# プロンプトに対してデフォルトのパスワード access を入力します（入力したパスワードは表示されません）。 次に、Enter Username> プロンプトに対し何も入力せずに<ENTER>キーを押します。 Local> プロンプトに対し、次のコマンドを入力します。

    SET SERVICE service TREE tree
    SET SERVICE service CONTEXT Context

    - tree は NDS ツリー名です。
    - Context はプリント サーバーをロードするコンテキスト名です。
    - service は、NetWare プリント サーバー名によって割り当てられるサービスの名前です。 プリントサーバのデフォルトサービス名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。
    - ウェブ ブラウザで TCP/IP プロトコルを使用して CP-LA200 プリント サーバーに接続し、NetWare プロトコル設定を選択して、TREE 名および CONTEXT 名を入力することもできます。

22. BRCONFIG または TELNET の SET NETWARE RESCAN コマンドを使用してプリント サーバーにファイル サーバーの再スキャンを実行させるか、プリンタの電源を入れなおします。

NetWare プリント サーバーによって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバ モードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。

デフォルトの NetWare サービスではないサービスでリモート プリンタ機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。 詳しい方法は、このマニュアルの「付録 B」をご参照ください。

CP-LA200プリント サーバー（リモート プリンタ モード）の設定にPCONSOLEとBRCONFIGを使用する

1. ファイル サーバーに PSERVER NLM（NetWare Loadable Module）がロードされていることを確認します。
2. NetWare 4.1x を使用している場合は、ワークステーションから ADMIN としてファイル サーバーにログインします（NDS サポートが必要な場合は、バインダリ モードでログインしてはいけません）。 NetWare 2.xx または 3.xx を使用している場合は、SUPERVISOR としてログインします。
3. ワークステーションから PCONSOLE ユーティリティを実行します。
4. 新しいプリントキューを作成する場合は、[利用可能な項目] メニューで [プリントキュー情報]（NetWare 3.xx）または [プリントキュー]（NetWare 4.1x）を選択します。
5. <INSERT>キーを押し、プリントキュー名を入力します（NetWare 4.1x の場合はボリューム名の入力も必要です。 <INSERT>キーを押し、適切なボリューム名を選択します）。 <ESCAPE>キーを押し、メイン メニューに戻ります。

NetWare 4.1x システムでの、NDS をサポートしたリモート プリンタの設定を行うには、次の手順を実行します。

6.
   a. PCONSOLE のメニューで [プリント サーバー] を選択し、ファイルサーバーにロードされている PSERVER NLM のプリントサーバー名を選択して＜ENTER＞キーを押します。
   b. [プリンタ] を選択します。
   c. <INSERT>キーを押し、[オブジェクト] の [クラス] メニューを表示します。
   d. <INSERT>キーを押し、プリンタ名を入力します。
   e. このプリンタ名を反転表示にし、<ENTER >キーを 2 回押して、[プリンタの設定] メニューを表示します。
   f. PCONSOLE によってプリンタ番号が割り当てられています。 後で必要になるため、この番号をメモしておきます。
   g. [プリントキュー割当て](リスト参照) を反転表示にして<ENTER >キーを押し、<INSERT>キーを押して使用可能なキューのリストを表示します。
   h. リモート プリンタに割り当てる印刷キューの名前を反転表示にし、<ENTER>キーを押します。
   i. メニューの他の項目の設定は必要ありません。 <ESCAPE>キーを数回押して PCONSOLE を終了します。
   j. 後述の、リモート プリンタ名とプリンタ番号のセクションの手順を実行します。

NetWare 3.xx システムでのリモート プリンタの設定を行うには、次の手順を実行します。

6.
   a. PCONSOLE のメイン メニューで [プリント サーバー情報] を選択し、PSERVER NLM の名称を選択します。
   b. [プリント サーバーの設定] を選択し、次に、[プリンタの設定] を選択します。 任意の「未インストール」プリンタを選択し、<ENTER>キーを押します。 このプリンタの番号が後の手順で必要になりますから、メモしておきます。

c　必要に応じ、プリンタの名称を新たに入力します。
d　[種類] を選択して<ENTER>キーを押し、[リモートその他/不明] を反転表示にして、もう一度<ENTER>キーを押します。 メニューの他の項目の設定は必要ありません。
e　<ESCAPE>キーを押し、設定した内容を保存します。
f　<ESCAPE>キーを押し、[プリンタがサービスを行うキュー] を選択します。
g　今設定したプリンタの名前を反転表示にし、<ENTER>キーを押します。
h　<INSERT>キーを押して目的の印刷キューを選択し、<ENTER>キーを押します（デフォルトの優先順位を選択します）。
i　<ESCAPE>キーを数回押して、PCONSOLE を終了します。

BRCONFIG を使用して、リモート プリンタ名とプリンタ番号を割り当てる

7.

a Windows のメニューから BRCONFIG を実行します。

b プリント サーバーのリストで CP-LA200 プリント サーバーを選択します。 プリント サーバーへの接続メッセージが表示されたら<ENTER>キーを押し、# プロンプトに対してデフォルトのパスワード access を入力します（入力したパスワードは表示されません）。 次に、Enter Username> プロンプトに対し何も入力せずに<ENTER>キーを押します。 Local> プロンプトに対し、次のコマンドを入力します。

SET NETWARE NPRINTER nlm number ON service
SET NETWARE RESCAN
EXIT

- nlm は、ファイル サーバー上の PSERVER NLM の名前です。
- number はプリンタ番号です。 この番号は、前の手順の PCONSOLE での設定で選択したプリンタ番号と一致していなければなりません。
- service は、NetWare プリント サーバー名によって割り当てられるサービスの名前です。 プリントサーバのデフォルトのサービス名は BRN_xxxxxx_P1 で、xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

たとえば、CASIO1PS という名称の PSERVER NLM を使用しているプリント サーバ BRN_310107_P1 を使用する CP-LA200 プリント サーバーに、「プリンタ番号 3」を設定するには次のコマンドを入力します。

SET NETWARE NPRINTER CASIO1PS 3 ON BRN_310107_P1
SET NETWARE RESCAN
EXIT

- ウェブ ブラウザから TCP/IP プロトコルを使用してプリント サーバーに接続し、NetWare プロトコル設定を選択して、リモート プリンタ名を入力することもできます。

NetWare プリント サーバー名によって割り当てられる同一のサービスを、キュー サーバモードとリモート プリンタ モードの両方で使用することはできません。

ここで、いったんファイル サーバー コンソールから PSERVER NLM をアンロードし、設定した内容を反映するために再ロードする必要があります。

第 6 章

DLC での印刷

Windows NT、Windows 2000 からの印刷

概要

DLC は、Windows NT および Windows 2000 に標準でサポートされているプロトコルです。

すぐ使用する場合

プリントサーバーの設定ページを印刷することができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

DLC プロトコルにはルーティング機能がないため、印刷ジョブを出力するコンピュータとプリント サーバー間にルーターを使用することはできません。

Windows NT/2000でのDLCの設定

Windows NT で DLC を使用するには、まず、DLC プロトコルをインストールする必要があります。

1. Windows NT に管理者権限でログインします。 [コントロール パネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。 Windows 2000 の場合は [ローカル エリア接続] の [プロパティ] を選択します。
2. Windows NT 3.5x システムの場合は、[ソフトウェアの追加] を選択します。 Windows NT 4.0 システムの場合は [プロトコル] タブをクリックし、[追加] をクリックします。 Windows 2000 の場合は、[全般] タブの [インストール] をクリックします。
3. [プロトコル] を選択し [OK] を、Windows 2000 の場合は [追加] をクリックします。 インストールに必要なファイルの格納場所の指定が必要な場合もあります。 Intel ベースのコンピュータの場合は、Windows NT CD-ROM の i386 ディレクトリに必要なファイルが格納されています。 Intel ベースのコンピュータでない場合は、Windows NT CD-ROM の該当するディレクトリを指定します。 [続行]（3.5x システム）または [閉じる]（4.0 システム）をクリックします。
4. 変更した内容を反映させるため、システムを再起動します。 Windows 2000 の場合は再起動は不要です。

Windows 2000でのプリンタ設定

1. Windows 2000 に管理者権限でログインします。 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。
2. [プリンタの追加] をクリックします。プリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、設定を行うプリンタ ドライバをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。 次に、[ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックして、手順 6 からの作業を続行し（手順 11～14 を無視）、正しいドライバをインストールします。
3. [次へ] をクリックします。
4. [ローカル プリンタ] を選択します。 [プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] がオフになっていることを確認します。
5. [次へ] をクリックします。
6. [新しいポートの作成] を選択し、[Hewlett-Packard Network Port] を反転表示にします。
7. [次へ] をクリックします。
8. 使用可能なプリント サーバーの MAC アドレス（Ethernet アドレス）のリストが、[カード アドレス] の下の大きなボックスに表示されます。 目的のプリント サーバーのアドレスを選択します。 このアドレスは、プリンタの設定ページに記載されています。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

9. 選択したプリント サーバーのアドレスが、[カード アドレス] の下の小さなボックスに表示されます。
10. 目的のポートの名称を入力し [OK] をクリックします（この名称は、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスであってはなりません）。 次に、[プリンタ ポート] の画面で [次へ] をクリックします。
11. 必要なドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
12. プリンタの名称を入力し、DOS アプリケーションから印刷するかどうかを指定します。 [次へ] をクリックします。
13. このプリンタを共有する場合は、共有名を指定します。
14. 場所とコメントを入力し、「プリンタの追加ウィザードを完了しています」の画面が表示されるまで、[次へ] をクリックします。
15. [完了] をクリックします。

Windows NT 4.0でのプリンタの設定

Windows NT に管理者権限でログインします。[スタート] をクリックし、[設定] をポイントして [プリンタ] をクリックします。

1. [プリンタの追加] をクリックします。プリンタ ドライバのインストールが済んでいる場合は、設定を行うプリンタ ドライバをダブルクリックし、[プリンタ] メニューの [プロパティ] をクリックします。 次に、[ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックして、手順 4 からの作業を続行し（手順 9～11 を無視）、正しいドライバをインストールします。
2. [このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。
3. [ポートの追加] をクリックします。
4. [Hewlett-Packard Network Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。
5. 使用可能なプリント サーバーの MAC アドレス（Ethernet アドレス）のリストが、[カード アドレス] の下の大きなボックスに表示されます。 目的のプリント サーバーのアドレスを選択します。 このアドレスは、プリンタの設定ページに記載されています。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

6. 選択したプリント サーバーのアドレスが、[カード アドレス] の下の小さなボックスに表示されます。
7. 目的のポートの名称を入力し [OK] をクリックします（この名称は、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスであってはなりません）。 次に、[プリンタ ポート] の画面で [閉じる] をクリックします。
8. 上の手順で選択した名称が、使用可能ポートのリストにチェックの印付きで表示されます。 [次へ] をクリックします。
9. 必要なドライバを選択し、[次へ] をクリックします。
10. プリンタの名称を入力します。 必要に応じ、このプリンタを通常使うプリンタに設定します。
11. [共有する] または [共有しない] を選択します。 共有する場合は、共有名と使用するオペレーティング システムを指定します。
12. テスト ページを印刷するかどうかを選択し、[完了] をクリックします。

他のシステムでのDLCの設定

他のネットワーク システムで DLC を使用するには、一般に、サード パーティ製のソフトウェアが必要です。 そのようなソフトウェアは、通常 CP-LA200 プリント サーバーをサポートしています。 システムへの DLC プロトコルのインストール方法は、ソフトウェア製造元のマニュアルをご参照ください。

プロトコルのインストールが終了したら、前のセクションの Windows NT の場合と同様にして、ネットワーク ポートを作成します。 プリント サーバーの MAC アドレス（Ethernet アドレス）は、設定作業中に自動的に表示されます。

最後の手順は、通常のオペレーティング システムでのプリンタ設定方法でプリンタを作成することです。 プリンタを LPT1 パラレル ポートに接続するのではなく、作成したネットワーク ポートに接続する点だけが異なります。

第 7 章

7 ウェブブラウザでの管理

デバイスの管理にウェブブラウザを使用する方法

概要

標準のブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）プロトコルを使用して、プリンタの管理を行うことができます。 使用するブラウザは Netscape Navigator バージョン 4.XX 以降または Internet Explorer バージョン 4.XX 以降をお勧めします。 ウェブ ブラウザを使用して、次の情報をプリンタから取得することができます。

1. プリンタのステータス情報
2. プリンタのコントロールパネルの制御
3. プリンタとネットワーク カードのバージョン情報
4. ネットワーク設定の変更
5. プリンタ設定の変更

ウェブブラウザを使用する場合は、ネットワーク上で TCP/IP プロトコルを使用し、プリントサーバーとコンピュータに有効な IP アドレスを設定する必要があります。

すぐ使用する場合

6. CP-LA200 プリントサーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。このアドレスの変更するには、コントロールパネル、BRAdmin Professional あるいは DHCP サーバー等を使用します。
7. CP-LA200 プリント サーバーのデフォルト パスワードは access です。

ブラウザを使用してプリンタに接続する方法

例）プリンタの IP アドレスが 192.189.207.2 の場合

ブラウザに http://102.189.207.2 と入力します。 Microsoft Windows のドメイン/ワークグループ環境の場合は、プリント サーバーの NetBIOS 名を使用することもできます。DNS プロトコルを使用するネットワークに接続されているプリンタの場合は、プリンタの DNS 名を入力します。

ウェブ設定ページ

プリンタに接続すると、次のようなページが表示されます。

目的のプリンタの管理機能へのリンクをクリックします。たとえば、プリンタの IP アドレスを変更する場合は、[ネットワーク ボード設定] リンクをクリックします。また、プリンタの設定を表示する場合は、[設定の表示] リンクをクリックします。

第 8 章

8 TCP/IP の設定

TCP/IP 情報の割り当て

概要

TCP/IP プロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有の IP アドレスが必要です。 この章では IP アドレスの設定について説明します。

CP-LA200 プリント サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 ですが、ネットワークでの IP アドレスの設定に合わせて変更できます。 IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で行ってください。

1. プリンタのコントロールパネル
2. BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP 用）
3. CP-LA200 BRCONFIG NetWare ユーティリティ（Novell ネットワークサーバが必須です）
4. DHCP、Reverse ARP (rarp)、または BOOTP
5. ARP コマンド
6. DEC NCP、NCL、または ccr ユーティリティ

設定されている IP アドレスを変更する方法

1. TELNET を使用する。
2. HTTP（ウェブ ブラウザ）を使用する。
3. その他の SNMP ベースの管理ユーティリティを使用する。

上記の設定方法について、以降のセクションで説明します。

プリントサーバーに割り当てる IP アドレスは、ホストコンピュータと同じ論理ネットワーク上に存在する必要があります。そうでない場合は、サブネットマスクとルーター（ゲートウェイ）を正しく設定しなければなりません。

プリンタのコントロールパネルを使用してIPアドレスを割り当てる

プリンタのコントロールパネルを使用して、他のプリンタ パラメータの設定と同時に、IP アドレスの詳細をプログラムすることができます。

BRAdmin Professionalを使用してIPアドレスを変更する

BRAdmin Professional を開きます（Windows 95/98/Me、NT4.0、Windows 2000/XP 専用）。BRAdmin Professional では、CP-LA200 プリント サーバーとの通信に、IPX/SPX または TCP/IP プロトコルが使用できます。 CP-LA200 プリント サーバーのデフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 です。 このアドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適合しないことがあります。 そのような場合には、BRAdmin Professional を使用して、次のいずれかの方法で IP アドレスを変更することができます。 ただし、DHCP、BOOTP、または RARP を使用していない場合に限ります。

1. IPX/SPX プロトコルを使用する。
2. TCP/IP プロトコルを使用し、BRAdmin Professional に CP-LA200 プリント サーバーを未設定デバイスとして認識させる。

BRAdmin ProfessionalとIPX/SPXプロトコルを使用してIPアドレスを変更する

コンピュータに Novell Netware Client ソフトウェアがインストールされ、IPX/SPX プロトコルを使用している場合は次の手順を実行します。

1. メイン ウィンドウの左側のフレームで、IPX/SPX フィルタを選択します。
2. プリント サーバー名をチェックします。 デフォルトのノード名は BRN_xxxxxx です。 この xxxxxx は Ethernet アドレス（MAC アドレス）の最後の 6 桁です。

目的のプリント サーバーの名前が表示されていない場合は、[デバイス] メニューの [稼働中のデバイスの検索] をクリックしてみてください（<F4>キーを押しても同じです）。

プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名と MAC アドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5 秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

3. 設定を行うプリント サーバーをダブルクリックします。 パスワードの入力が必要です。 デフォルトのパスワードは access です。
4. [TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスを設定します。 サブネット マスクとゲートウェイの設定も必要です。
5. IP 設定を[手動]に設定します。
6. [OK] をクリックします。
7. IP アドレスをタフだ敷く設定すると、デバイス リストに CP-LA200 プリント サーバーが表示されます。

BRAdmin、ウェブブラウザ、または TELNET を使用してプリントサーバーをリスタートしてください。リスタートの方法がわからない場合はプリンタの電源を切り、その後電源を入れなおしてください。

BRAdmin ProfessionalとTCP/IPプロトコルを使用してIPアドレスを変更する

コンピュータにインストールされているプロトコルが TCP/IP だけの場合は、次の手順を実行します。

1. メイン ウィンドウの左側のフレームで、TCP/IP フィルタを選択します。
2. [デバイス] メニューの [稼働中のデバイスの検索] をクリックします。

プリント サーバーの設定が工場出荷時のデフォルト設定のままの場合は、BRAdmin Professional の画面に表示されません。 ただし、[稼働中のデバイスの検索] を実行すると、未設定デバイスとして表示されます。

3. [デバイス] メニューの [未設定デバイスの設定] をクリックします。
4. プリント サーバーの MAC アドレスを選択し、[設定] ボタンをクリックします。

ノード名と MAC アドレスは、プリンタの設定ページを印刷して調べることができます。

5. プリント サーバーの IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ（必要な場合）を入力します。
6. [OK] をクリックし、[閉じる] をクリックします。
7. IP アドレスを正しく設定すると、デバイス リストに CP-LA200 プリント サーバーが表示されます。

BRAdmin、ウェブブラウザ、または TELNET を使用してプリントサーバーをリスタートしてください。リスタートの方法がわからない場合はプリンタの電源を切り、その後電源を入れなおしてください。

DHCPを使用して自動的にIPアドレスを設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当てメカニズムの 1 つです。 Unix、Windows NT/2000、Novell Netware などのネットワーク内に DHCP サーバーが存在する場合は、その DHCP サーバーからプリント サーバーに自動的に IP アドレスが割り当てられ、RFC 1001 および 1002 準拠の動的名前サービスを使用して、その名前が登録されます。

DHCP、BOOTP、または RARP を使用してプリント サーバーの IP アドレスの設定を行わない場合は、[BOOT METHOD（ブート方式）] を [static（固定）] に設定し、プリント サーバーが、これらのシステムから自動的に IP アドレスを取得しないようにしなければなりません。 BOOT METHOD（ブート方式）を変更するには、プリンタのコントロールパネル（LCD パネル付きのプリンタの場合）、TELNET（SET IP METHOD コマンドを使用）、ウェブブラウザ、または BRAdmin Professional を使用します。

ARPを使用してプリント サーバーのIPアドレスを設定する

BRAdmin Professional、プリンタのコントロールパネル、および DHCP サーバーを使用することができない場合は、ARP コマンドを使用します。 ARP の使用は、プリント サーバーの IP アドレスを設定する最も簡単な方法です。 Unix システムだけでなく、TCP/IP をインストールした Windows システムでも ARP を使用することができます。ARP を使用するには、コマンド プロンプトで、次のコマンドを入力します。

arp -s ipaddress ethernetaddress

ethernetaddress は、プリント サーバーの Ethernet アドレス（MAC アドレス）で、ipaddress はプリント サーバーの IP アドレスです。 例を次に示します。

Windows システム

Windows システムでは、Ethernet アドレスの各桁の間にコロン（:）が必要です。

Arp -s 192.189.207.2 00:80:77:31:01:07

このコマンドは同一のセグメント上でなければ使用できません。 つまり、プリント サーバーとオペレーティング システムの間にルーターが存在する場合は使用できません。ルーターが存在する場合は、BOOTP またはこの章で説明する他の方法を使用して IP アドレスを入力します。

システム管理者が、BOOTP、DHCP、または RARP を使用して IP アドレスを割り当てるようにシステムを設定している場合は、CP-LA200 プリント サーバーにはこれらのアドレス割り当てシステムから IP アドレスが自動的に割り当てられるため、ARP コマンドを使用する必要はありません。 また、ARP コマンドは 1 回しか使用できません。すなわち ARP コマンドを使用して CP-LA200 プリント サーバーの IP アドレスを設定した場合は、セキュリティのため、それ以上 ARP コマンドを使用して IP アドレスを変更することはできません。IP アドレスの変更が必要な場合は、ウェブ ブラウザ、TELNET（SET IP ADDRESS コマンドを使用）、プリンタのコントロールパネル（LCD パネル付きプリンタの場合）を使用します。ただ、プリントサーバーを工場設定にリセットすると、再び ARP コマンドを使用することができます。

プリント サーバーの設定および接続の検証を行うには、ping ipaddress コマンドを入力します。 ipaddress はプリント サーバーの IP アドレスです。

例－ping 192.189.207.2

RARPを使用してIPアドレスを設定する

ホスト コンピュータで Reverse ARP（rarp）機能を使用し、CP-LA200 プリント サーバーの IP アドレスを設定することができます。 この場合は、/etc/ethers ファイルを編集し、次のエントリを追加します（このファイルが存在しない場合は作成します）。

```
00:80:77:31:01:07   BRN_310107
```

最初のエントリは、プリント サーバーの Ethernet アドレスで、2 番目のエントリはプリント サーバーの名前です。 この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は実行します。 このコマンドは、使用しているシステムによって、 rarpd、rarpd -a、in.rarpd -a などと、少しずつ異なります。 詳細は、man rarpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルをご参照ください。 Berkeley UNIX ベースのシステムで rarp デーモンが実行されているかどうかを調べるには、次のコマンドを入力します。

```
ps -ax | grep -v grep | grep rarpd
```

AT&T UNIX ベースのシステムの場合は、次のコマンドを入力します。

```
ps -ef | grep -v grep | grep rarpd
```

CP-LA200 プリント サーバーの電源をオンにすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTPを使用してIPアドレスを設定する

rarp の代わりに BOOTP を使用すると、サブネット マスクとゲートウェイの設定ができるメリットがあります。 BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホスト コンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。 ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアル サービスとして記述されていなければなりません。 man bootpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルをご参照ください。 通常、BOOTP は/etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますから、このファイルの bootp エントリの行頭にある# を削除して、この行を有効にしておく必要があります。 一般的な/etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを、次に示します。

```
#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i
```

システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の# を削除します。 # が無い場合は、BOOTP はすでに有効になっています。 次に、設定ファイル（通常は/etc/bootptab）を編集し、プリント サーバーの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、Ethernet アドレス、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイを入力します。 残念なことに、この記述フォーマットは標準化されていないため、ご使用のシステムのマニュアルを参照して調べる必要があります。 多くの UNIX システムでは、bootptab ファイルのサンプル テンプレートが用意されていますから、それを参照することができます。 一般的な/etc/bootptab エントリの例を、次に示します。

```
BRN_310107 1  00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\
ip=192.189.207.3:
```

BOOTP ホスト ソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。 そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

rarp での設定の場合と同じように、プリント サーバーの電源をオンにすると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

DEC NCPまたはBRCONFIGを使用してIPアドレスを設定する

DEC および Novell のネットワークでは、リモート コンソール機能を使用して、CP-LA200 プリント サーバーの IP アドレスを設定することができます。 VMS システムでリモート コンソールを使用するには、DECNET が実行されている必要があります。DEC ネットワークの場合は、次の手順を実行します。

まずリモート コンソールに接続します。VMS または LTRIX でリモート コンソールを使用している場合は、回線 ID とプリントサーバーの Ethernet アドレスを使います。（Q-BUS システムの場合は QNA-0、DEC ワークステーションの場合は SVA-0 、UNIBUS システムの場合は UNA-0、BI システムの場合は BNA-0、XMI システムの場合は MNA-0 です。 回線 ID を調べるには、VMS NCP コマンド SHOW KNOWN CIRCUITS とプリント サーバーの Ethernet アドレスを使用します。 （プリント サーバーの Ethernet アドレスは、プリント サーバーのラベルまたはプリンタ設定ページに記載されています。）

プリンタの LCD パネルを使用して設定を行うには、「SEL」ボタンを押してプリンタをオフラインにし、「SHIFT」ボタンを押したまま上向き矢印ボタンを使って「PRINT CONFIG」を表示し、「SET」ボタンを押します。 プリンタから設定シートが印刷出力されます。 「印刷設定」シートに、このプリント サーバーの設定情報がすべて記載されています。 「SEL」ボタンを押してプリンタをオンラインに戻します。

VMS システムでは、次のコマンドを実行して接続を行います。

```
$ MCR NCP
NCP>CONNECT VIA QNA-0 PHY ADD 00-80-77-31-01-07
```

ULTRIX システムでは、次のコマンドを実行して接続を行います。

```
# addnode BR -c qna-0 -h 00-80-77-31-01-07
# ccr BR
```

（00-80-77-31-01-07 はプリントサーバの MAC アドレスです。）

NetWare ネットワークでは BRCONFIG ユーティリティを使用します。 このユーティリティは、どのプリント サーバーにも付属しています。

リモートコンソールを使用している場合は、メッセージ「Console connected（コンソールに接続）」（VMS）、「Connection established（接続が確立しました）」（BRCONFIG）、または「Remote console reserved (リモート コンソールを予約しました)」（ULTRIX）が表示されます。 <RETURN>キーを押し、# プロンプトにパスワードを入力します。（デフォルトのパスワードは access です。） 入力したパスワードは表示されません。

ユーザー名の入力では、プロンプトに対して任意の名前を入力します。

Local> プロンプトが表示されます。 コマンド SET IP ADDRESS ipaddress を入力します。ipaddress はプリント サーバーに割り当てる IP アドレスです。 使用する IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお尋ねください。 例を次に示します。

```
Local> SET IP ADDRESS 192.189.207.3
```

次に、コマンド SET IP SUBNET subnet mask を入力し、サブネット マスクを設定します。subnet mask はプリント サーバーに割り当てるサブネット マスクです。 使用するサブネット マスクについては、ネットワーク管理者にお尋ねください。 例を次に示します。

```
Local> SET IP SUBNET 255.255.255.0
```

サブネット マスクを使用していない場合は、次のデフォルト サブネット マスクのいずれかを使用します。

255.255.255.0　クラス C ネットワーク用
255.255.0.0　　クラス B ネットワーク用
255.0.0.0　　クラス A ネットワーク用

IP アドレスの左端の数字で、ネットワークのタイプが識別できます。この値は、クラス C ネットワークの場合は 192～255（192.189.207.3 など）、クラス B ネットワークの場合は 128～191（128.10.1.30 など）、クラス A ネットワークの場合は 1～127（13.27.7.1 など）です。

ゲートウェイ（ルーター）が存在する場合は、その IP アドレスをコマンド SET IP ROUTER routeraddress を使用して設定します。 routeraddress はプリント サーバーに割り当てるゲートウェイの IP アドレスです。 例を次に示します。

```
Local> SET IP ROUTER 192.189.207.1
```

IP アドレスが正しく設定されているかどうかを調べるには、SHOW IP コマンドを使用します。

EXIT を入力するか、<CTR>+<D>キーを押し（<CTR>キーを押したまま<D>キーを押します）、リモートコンソール セッションを終了します。

TELNETコンソールを使用してIPアドレスの設定を変更する

TELNET コマンドを使用して IP アドレスを変更することができます。
IP アドレスの変更に TELNET を使用するのは効率の良い方法ですが、その場合プリント サーバーに有効な IP アドレスが割り当てられている必要があります。

TELNET を使用するにはプリント サーバーのパスワードの入力が必要です。
<RETURN>キーを押し、# プロンプトにパスワードを入力します。 （デフォルトのパスワードは access です。）入力したパスワードは表示されません。

ユーザー名の入力では、プロンプトに対して任意の名前を入力します。

Local> プロンプトが表示されます。 コマンド SET IP ADDRESS ipaddress を入力します。 ipaddress はプリント サーバーに割り当てる IP アドレスです。 使用する IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお尋ねください。 例を次に示します。

```
Local> SET IP ADDRESS 192.189.207.3
```

次に、コマンド SET IP SUBNET subnet mask を入力し、サブネット マスクを設定します。 subnet mask はプリント サーバーに割り当てるサブネット マスクです。 使用するサブネット マスクについては、ネットワーク管理者にお尋ねください。 例を次に示します。

```
Local> SET IP SUBNET 255.255.255.0
```

サブネット マスクを使用していない場合は、次のデフォルト サブネット マスクのいずれかを使用します。

255.255.255.0　クラス C ネットワーク用
255.255.0.0　　クラス B ネットワーク用
255.0.0.0　　クラス A ネットワーク用

IP アドレスの左端の数字で、ネットワークのタイプが識別できます。 この値は、クラス C ネットワークの場合は 192～255（192.189.207.3 など）、クラス B ネットワークの場合は 128～191（128.10.1.30 など）、クラス A ネットワークの場合は 1～127（13.27.7.1 など）です。

ゲートウェイ（ルーター）が存在する場合は、その IP アドレスをコマンド SET IP ROUTER routeraddress を使用して設定します。 routeraddress はプリント サーバーに割り当てるゲートウェイの IP アドレスです。 例を次に示します。

```
Local> SET IP ROUTER 192.189.207.1
```

IP アドレスが正しく設定されているかどうかを調べるには、SHOW IP コマンドを使用します。

EXIT を入力するか、<CTR>+<D>キーを押し（<CTR>キーを押したまま<D>キーを押します）、リモート コンソール セッションを終了します。

第 9 章

9 トラブルシューティング

概要

この章では、CP-LA200 プリント サーバーの使用上発生する可能性のある問題と、その解決方法について説明します。 この章は次のセクションで構成されています。

1. インストールについての問題
2. プロトコル固有の問題

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。

1. プリンタの電源がオンで、オンラインであり、印刷できるようになっていることを確認します。

   プリントサーバーの設定ページを印刷して、ノード名とMACアドレスを調べることができます。本体背面のネットワークボード上のテストボタンをボールペンなど、先が尖ったもので押します。(5秒以上押さないで下さい。) 詳しくは、製品に同梱されているクイックセットアップガイド裏面の「クイックネットワークセットアップガイド」をご参照ください。

   a. プリンタのコントロールパネルにあるアラーム LED が点灯または点滅し、背面パネルの UTP（イーサネット）コネクタの近くにある LED がすべて消灯しているか、オレンジ色の（F）LED が点滅している場合は、ネットワーク ファームウェアに異常のある可能性があります。
   b. この場合は、プリンタの背面パネルにある「TEST」スイッチを 5 秒間以上押し、プリント サーバーの工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてみます。 その後で、プリンタの電源を入れ直し、設定ページを印刷してみます。
2. 設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次のどの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. TCP/IP を使用している場合

ホスト オペレーティング システムから次のコマンドを実行し、プリント サーバーへのpingを行ってみます。

Ping ipaddress

ipaddressはプリント サーバーのIPアドレスです。 プリント サーバーにIPアドレスがロードされるまでに、IPアドレスの設定後最大2分間かかることがあります。 応答が正しく返される場合は、UNIX、TCP/IP Windows NT/LAN Server (TCP/IP)、Windows98/95/Me ピアツーピア印刷（LPR）、インターネット印刷、またはウェブ ブラウザのトラブルシューティングのセクションに進みます。 応答が返らない場合は、手順3に進み、次にTCP/IPトラブルシューティングのセクションに進みます。

b. Novell システムを使用している場合

ネットワーク上にプリント サーバーが存在しているかどうかをチェックします。 SUPERVISOR（スーパバイザ権限のあるユーザーではない）またはADMIN（Netware 4以降のサーバーの場合）としてログインし、PCONSOLEまたはNWADMINを実行し、[PRINT SERVER INFORMATION（プリント サーバー情報）] を選択し、プリント サーバの名称を選択します。 このプリント サーバー名が前に入力した名称であることを確認します。 [Print Server Status and Control（プリント サーバーのステータスと制御）] がメニューに表示されている場合は、CP-LA200 プリント サーバーがネットワークから認識されています。 Novel NetWareのインストールのトラブルシューティングのセクションに進みます。 それ以外の場合は手順3に進みます。

3. 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目をチェックします。
   a. プリンタの電源がオンで、オンラインになっていることを確認します。
   b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックします。
4. リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにしてください。 また、他のハブをお持ちか、またはリピータマルチポートの場合は、プリント サーバーを別のポートや他のハブまたはリピータで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかをチェックします。
5. プリント サーバーとホスト コンピュータとの間にブリッジまたはルーターが存在する場合は、ホストからプリント サーバーへのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。 例えば、ブリッジは特定のイーサネットアドレスのデータだけが通過できるように設定されていることがあり（フィルタリング）、そのような場合には CP-LA200 プリント サーバーのアドレスが含まれるように設定する必要があります。 また、ルーターは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあり、プリント サーバーで使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認する必要があります。

TCP/IPのトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IP を使用してプリント サーバーに正しく印刷出力を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーの可能性を除去するため、まず、次の手順を実行することをお勧めします。

プリンタの電源を入れなおす。
セットアップ エラーの可能性を除去するため、オペレーティングシステム上のプリント サーバー設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成する。

1. IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生することがあります。 プリント サーバーに IP アドレスが正しくロードされていることを確認します（設定ページを印刷）。 ネットワーク上のノードで、このアドレスが使用されていないことを確認します。 TCP/IP 印刷の問題で最も多い原因は IP アドレスの重複です。
2. IP アドレスの入力に、TELNET、BRCONFIG、NCP、ccr を使用した場合は、<CTRL>+<D>キーを押すか EXIT コマンドを入力して正しくリモート コンソールを終了していること、およびプリンタの電源を入れ直したことを確認します。IP アドレスのロードには設定後最大 2 分間程度かかることがあります。
3. TCP/IP プロトコルがプリント サーバーで使用されるように設定されていることを確認します。
4. rarp を使用した場合は、ワークステーションで、rarpd、rarpd-a、または等価のコマンドを使用して rarp デーモンを起動していることを確認します。 /etc/ethers ファイルに、正しいイーサネットアドレスが記述されていること、プリント サーバー名が/etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。
5. bootp を使用した場合は、ワークステーションで bootp デーモンを起動し、/etc/bootptab ファイルが正しく設定され（エントリから # が削除されているなど）、bootp が有効になっていることを確認します。
6. また、ホスト コンピュータとプリント サーバーが、どちらも同じサブネット上に存在すること、サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルーターが設定されていることを確認します。

Windows NT/LAN Server (TCP/IP) のトラブルシューティング

Windows NT または LAN Server での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. Windows NT システムまたは LAN Server ファイル サーバーに、TCP/IP および TCP/IP 印刷サービスがインストールされ、実行されていることを確認します。
2. DHCP を使用するなどして、プリント サーバーの IP アドレスが確定していない場合は、[LPD を提供しているサーバーの名称またはアドレス:] ボックスに、プリント サーバーの NetBIOS 名を入力します。

Windows 95/98/Me ピアツーピア 印刷（LPR）のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me でのピアツーピア（LPR）印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. CP-LA200 ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアが正しくインストールされ、第 2 章の説明に従って正しく設定されていることを確認します。

2. DHCP を使用するなどして、プリントサーバーの IP アドレスが確定していない場合は、[ポートの設定]画面で[ノード名で印刷先を指定する]にチェックマークをつけ、[ノード名]ボックスにプリントサーバーの NetBIOS 名を入力します。

3. プリンタドライバのプロパティにて、「詳細」タブを開きます。「ポートの設定」ボタンをクリックします。「ポートの設定」画面で「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックマークをつけます。OK ボタンをクリックします。

CP-LA200 ピアツーピア（LPR）ソフトウェアのインストールの際に、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。 Windows 95/98/Me コンピュータで、この現象が発生することがあります。 その場合は、<ALT>+<TAB>キーを押すと表示されます。

Windows 95/98/Me/NT 4.0 ピアツーピア印刷（NetBIOS）のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000 のピアツーピア ネットワーク（NetBIOS）での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. CP-LA200 ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアが正しくインストールされているか、第 3 章 NetBIOS ピアツーピア印刷の章の説明に従って正しく設定されていることを確認します。 ソフトウェアのインストールの際に、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。 Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000 コンピュータで、この現象が発生することがあります。 その場合は、<ALT>+<TAB>キーを押すと表示されます。

2. プリント サーバーが、ネットワーク内のコンピュータと同じワークグループまたはドメインに所属するように設定されていることを確認します。 プリント サーバーが「ネットワークコンピュータ」として表示されるまでに、数分かかることがあります。

CP-LA200インターネット印刷のトラブルシューティング

送信側のコンピュータから受信側のプリント サーバーに電子メールを送信できるかどうかを確認してください。 プリントサーバーと同じリモート サイトのユーザーに、送信側コンピュータから電子メールを送信してみます。 これが正しく実行できなければ、送信側コンピュータ、送信側の電子メール サーバー、または受信側のリモート POP3 サーバーの電子メール設定に問題があります。送信側コンピュータとリモート プリント サーバーの電子メール パラメータが、電子メール サーバーに設定されているパラメータと一致しているかどうかを再チェックします。

小さなファイルの印刷には問題がなく大きなファイルの印刷に問題がある場合は、おそらく電子メール システムに原因があります。 電子メール システムによっては、大きなファイルの印刷時に問題の発生するものがあります。 ファイルが宛先に届かない場合も、電子メール システムに原因があると考えられます。このような場合には、送信側コンピュータで分割メール機能を使用することができます。 この機能を使用すると、電子メールが細かく分割して処理されるため、ほとんどの電子メール サーバーで処理することができます。 この機能の設定は、CP-LA200 インターネット印刷の [ポートの設定] 画面で行います。

Windows 95/98/Me/2000のIPPのトラブルシューティング

ポート番号を 631 以外の番号に変更する
IPP 印刷にポート 631 を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。 このような場合には、ポート番号を変更するか（ポート 80 など）、ポート 631 を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。
ポート 80（標準 HTTP ポート）を使用するプリンタに、IPP を使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows 2000 システムでの設定時に、次のデータを入力します。

http://ip_address/ipp

Windows 2000 での［詳細］オプションが使用できない
http://ip_address:631/ipp の URL を使用している場合は、Windows 2000 での [詳細] オプションは使用できません。 [詳細] オプションを使用するには、次の URL を使用してください。

http://ip_address:631 or http://ip_address:631/ipp, the “Get More Info” option in Windows 2000 will not function. If you wish to use the “Get More Info” option use the following URL:

http://ip_address

これで、Windows 2000 と CP-LA200 プリント サーバーとの通信にポート 80 が使用できます。

Windows 95/98/Me クライアントが Windows 2000 システムからドライバを取得できない
クライアント コンピュータで、バージョン 4.0 以降の Internet Explorer を使用し、Microsoft インターネット印刷サービス ソフトウェアがインストールされているかどうかをチェックします。

Novell NetWareのトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェック（前述）に問題がないにも関わらず、NetWare から印刷を行うことができない場合は、CP-LA200 プリント サーバーがサーバー キューに接続されているかどうかを確認します。 PCONSOLE を実行し、[PRINT QUEUE INFORMATION（印刷キュー情報）] を選択して、[CURRENTLY ATTACHED SERVERS（現在接続しているサーバー）] を選択します。 プリント サーバーが接続先サーバーのリストに表示されていない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーの可能性を除去するため、まず、次の手順の実行をお勧めします。

- プリンタの電源を入れ直すことで、強制的に Netware キューのスキャンを実行する。
- セットアップ エラーの可能性を除去するため、プリント サーバーを削除して再作成し、新しい印刷キューを作成する。

1. ログイン パスワードを変更した場合は、CP-LA200 プリント サーバーとファイル サーバーの両方のパスワードを変更する必要があります。 プリント サーバのパスワードは、BRConfig ソフトウェアの SET NETWARE PASSWORD コマンドを使用するか、ウェブ ブラウザまたは BRAdmin Professional を使用して変更します。 ファイル サーバーのパスワードは、PCONSOLE のプリント サーバー情報パスワード変更コマンドを使用して変更します。
2. 印刷キューの作成に BRAdmin Professional ではなく PCONSOLE を使用した場合は、少なくとも 1 つのファイル サーバーを SET NETWARE SERVER servername ENABLED コマンドを使用して有効にしたかどうかを確認します。
3. NetWare のユーザー制限を超えていないかどうかをチェックします。
4. PCONSOLE で使用したプリント サーバー名が、プリント サーバーに設定されている名称と完全に一致しているかどうか、また、印刷キューのキュー サーバーとして定義されているかどうかを確認します。
5. ネットワーク上の別々のサーバーで、802.3 と Ethernet II フレームの両方を実行している場合は、プリント サーバーと目的のサーバーが接続できないことがあります。 プリント サーバーのリモート コンソールから SET NETWARE FRAME コマンドを使用するか BRAdmin Professional を使用して、フレームの種類を強制的に 1 つにしてください。
6. DOS CAPTURE ステートメントを使用しているときに、印刷ジョブの一部が失われる場合は、CAPTURE ステートメントの TIMEOUT パラメータの値を大きくしてみてください（Windows の場合は 50 秒以上）。

DLC/LLCのトラブルシューティング

DLC/LLC での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. BRAdmin Professional、ウェブ ブラウザ、または TELNET を使用して、DLC/LLC プロトコルが有効になっていることを確認します。

2. インサツソフトウェアに設定してある MAC アドレスが、印刷設定ページのものと一致していることを確認します。

ウェブブラウザのトラブルシューティング

1. ウェブブラウザを使用してプリント サーバーに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定をチェックしてください。プロキシを使用しない設定をチェックし、必要ならプリントサーバの IP アドレスを入力します。これで、プリントサーバの接続時に、毎回、コンピュータが ISP やプロキシ サーバーへの接続を試行することはなくなります。

2. 使用しているブラウザが適当かどうかをチェックします。 Netscape Navigator バージョン 4.0 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 4.0 以降の使用をお勧めします。

付録

付録 A

一般情報

プリントサーバーの設定を変更するには、次のいずれかの方法を使用します。

- BRAdmin Professional（Windows 95 以降）
- HTTP（ウェブブラウザを使用）
- TELNET（コマンドユーティリティ）
- BRCONFIG NetWare ユーティリティ（コマンドユーティリティ）

BRAdmin Professional（推奨）
BRAdmin Professional では、TCP/IP または IPX/SPX プロトコルを使用することができます。このユーティリティを使用すると、ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。

HTTP（推奨）
使い慣れたウェブブラウザを使用して、CP-LA200 プリントサーバーに接続し、プリントサーバーのパラメータの設定を行うことができます。

TELNET
TELNET を使用して、Windows NT、およびほとんどの TCP/IP システムからプリントサーバーに接続できます。 システムのコマンドプロンプトで、TELNET ipaddress と入力します。この ipaddress はプリントサーバーの IP アドレスです。プリントサーバーに接続したら、<RETURN>または<ENTER>キーを押します。 # プロンプトでパスワードを入力し（デフォルトのパスワードは access です）、Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。 Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。
コマンドプロンプトで HELP を入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

BRCONFIG
CP-LA200 BRCONFIG ユーティリティは、BRAdmin Professional と共にインストールされる、DOS 用ユーティリティです。CP-LA200 BRCONFIG NetWare ユーティリティを使用してプリントサーバーに接続するには、CP-LA200 BRAdmin Professional から BRCONFIG ユーティリティを選択します。プリントサーバーが 1 つしかない場合は、直ちにそのサーバーに接続します。複数のプリントサーバーが存在する場合は、使用可能なプリントサーバーのリストが表示されます。接続するプリントサーバーの番号を入力します。プリントサーバーに接続したら、# プロンプトでパスワードを入力し（デフォルトのパスワードは access です）、Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。 Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。
BRCONFIG を使用するには、IPX プロトコルを実行している Novell Server と、そのサーバーへのアクティブな接続が必要です。
コマンドプロンプトで HELP コマンドを入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

付録 B
サービスの使用

概要

CP-LA200 プリントサーバーへの印刷を行うコンピュータからアクセスすることのできるリソースをサービスと呼びます。CP-LA200 プリントサーバーには、次の定義済みサービスが用意されています。CP-LA200 プリントサーバーのリモートコンソールで SHOW SERVICE コマンドを実行すると、使用可能なサービスのリストが表示されます。

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリ NetBIOS および LAT サービス
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス（LF の後に CR を追加）
PCL_P1	PCL サービス（PJL 互換プリンタなら PCL モードへ切り換えて印刷する）
BRN_xxxxxx_P1	NetWare サービス（下位互換のため TCP/IP と LAT が使用可能）

xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です（BRN_310107_P1 など）。

商標について

CASIO ロゴはカシオ計算機株式会社の登録商標です。

HP、HP/UX、JetDirect、および JetAdmin は Hewllet-Packard Company の商標です。
DEC、DEC server、VMS、LAT および ULTRIX は Digital Equipment Corporation の登録商標です。
UNIX は UNIX Systems Laboratories の商標です。
Ethernet は Xerox Corporation の商標です。
Postscript は Adobe Systems Incorporated の商標です。
Netware は Novell, Inc.の商標です。
Apple、Macintosh、LaserWriter、および AppleTalk は Apple Computer, Inc.の商標です。
IBM、LAN Server、および AIX は International Business Machines Corporation の商標です。
LAN Manager、Windows、および MS-DOS は Microsoft Corporation の商標です。
VINES は Banyan Systems Inc.の商標です。

本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

編集および出版について

本取扱説明書は、カシオ計算機株式会社の監修の下に、最新の製品の仕様と使用方法を説明するために編集および出版されたものです。
この取扱説明書の内容および製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
カシオ計算機株式会社は予告なく仕様を変更する権利を留保し、誤植や編集上の誤りによるものだけでなく、内容の誤りによるものを含め、本書に起因するあらゆる損害について一切の責任を負いません。

お問い合わせ先

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画促進課

〒151-8543　東京都渋谷区本町 1－6－2
電話 03-5334-4552

テクニカル・インフォメーション・センター　電話 03-5334-4557
インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

LAN I/F ボード CP-LA200
ネットワーク取扱説明書

2002 年 7 月 23 日　第 1 版発行
カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

ⓒ CASIO COMPUTER CO., LTD.
ⓒ CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO.,LTD.